

## 平成 19 年 10 月の地震活動及び火山活動について

### ○ [地震活動]

10 月 1 日に神奈川県西部で M4.9 の地震が発生し、神奈川県箱根町で震度 5 強を観測しました。津波を観測した地震はありませんでした。

全国で震度 1 以上を観測した地震の回数は 144 回、日本及びその周辺における M 4 以上の地震の回数は 87 回でした。

国土地理院の GPS 観測結果では、全国の地殻変動について特に目立った変動は見られません。

震度 3 以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙 1 のとおりです。また、世界の主な地震は別紙 2 のとおりです。

### ○ [火山活動]

噴火したのは、桜島及び諏訪之瀬島でした。

桜島では、29 日に南岳山頂火口で爆発的噴火が発生しました。

諏訪之瀬島では、26 日に御岳火口で爆発的噴火が発生しました。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続いています。

樽前山、硫黄島、福德岡ノ場、薩摩硫黄島及び口永良部島では、火山活動のやや活発な状況が続いています。

なお、気象庁は、所定の準備が整ったことから、硫黄島の火山名の呼称を平成 19 年 11 月 22 日(木)より「いおうじま (Iojima)」から「いおうとう (Ioto)」に変更いたします。

日本の主な火山活動の概況は別紙 3 のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙 4 のとおりです。

注 1：国土地理院の GPS による地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成 19 年 9 月～10 月の地殻変動について」を参照ください。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2007/goudou1109.htm>

注 2：気象庁の地震活動資料には、防災科学技術研究所や大学等関係機関のデータも使われています。

注 3：地震活動および火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)2007 年 10 月号(2007 年 11 月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定)をご覧ください。

注 4：平成 19 年 11 月の地震活動及び火山活動については、平成 19 年 12 月 6 日に発表の予定です。

# 2007 年 10 月の主な地震活動<sup>注 1)</sup>

| 番号 | 月 日       | 時 分    | 震央地名     | 深さ<br>(km) | M   | 最大<br>震度 | 備考 / コメント                                 |
|----|-----------|--------|----------|------------|-----|----------|-------------------------------------------|
| 1  | 10 月 1 日  | 2時21分  | 神奈川県西部   | 14         | 4.9 | 5強       | フィリピン海プレートの沈み込みに伴い発生した地震                  |
| 2  | 10 月 9 日  | 2時10分  | 北海道東方沖   | 40         | 5.8 | 4        | 太平洋プレートの沈み込みに伴い発生した地震                     |
| 3  | 10 月 14 日 | 3時07分  | 島根県東部    | 11         | 3.7 | 4        | 「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」の余震域から少し離れた場所で発生した地震 |
| 4  | 10 月 17 日 | 2時03分  | 新潟県中越地方  | 15         | 3.7 | 4        | 「平成16年(2004年)新潟県中越地震」の余震域で発生した地震          |
| 5  | 10 月 17 日 | 19時58分 | 沖縄本島近海   | 39         | 5.4 | 3        | フィリピン海プレート内部で発生した地震                       |
| 6  | 10 月 22 日 | 9時35分  | 新島・神津島近海 | 9          | 4.3 | 4        |                                           |
| 7  | 10 月 25 日 | 22時50分 | 千島列島東方   | 30         | 6.2 | 1        | 太平洋プレート内部で発生した地震                          |
| 8  | 10月30日    | 5時29分  | 大分県中部    | 2          | 2.8 | 3        | 震度 1 以上を観測した地震が12回発生するなどのまとまった活動          |
|    |           | 5時41分  |          | 3          | 3.0 | 3        |                                           |
|    |           | 9時46分  |          | 3          | 3.0 | 3        |                                           |

注 1) 「主な地震活動」とは、震度 4 以上の地震、M6.0 以上の地震、陸域で M4.5 以上かつ震度 3 以上の地震、海域で M5.0 以上かつ震度 3 以上の地震、前に取り上げた地震活動で活動が継続しているもの、その他、注目すべき活動。

## ・地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果

2007 年 10 月 29 日に気象庁において第 257 回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会(定例会)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表しました。その後も地震・地殻活動等の状況に変化はありません。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。静岡県中部ではプレート内で通常より活動レベルが低く、地殻内ではやや高い状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

なお、愛知県のプレート境界における「短期的ゆっくり滑り」に起因すると見られる地殻変動と低周波地震活動が 9 月 26 日～10 月 2 日及び 10 月 6 日～12 日の 2 度にわたり観測されました。この付近では同様の現象が本年 6 月にも観測されています。

### 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所<sup>\*</sup>から提供されたものも震度情報として発表している。

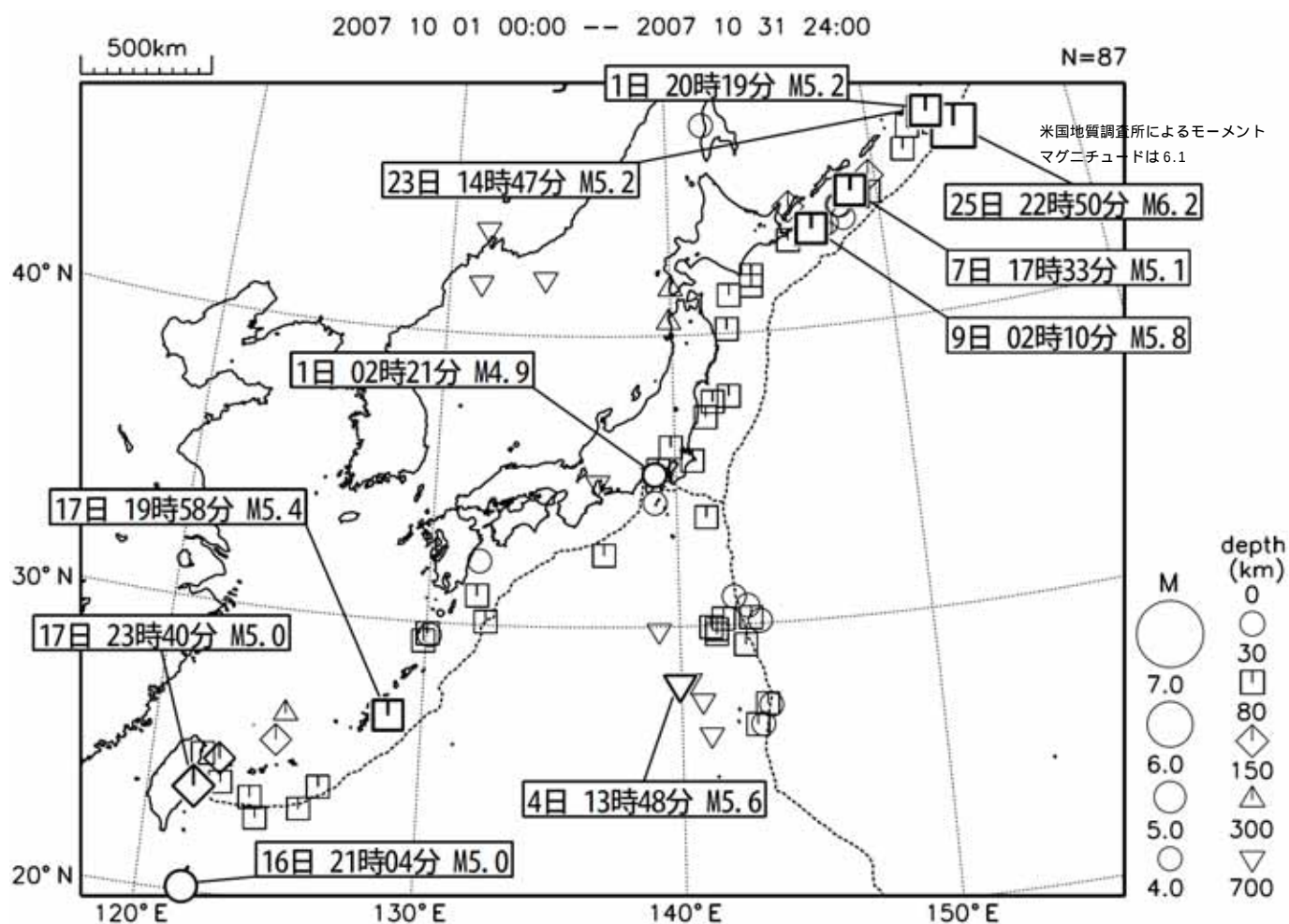
また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け<sup>\*\*</sup>、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、「地震・火山月報(カタログ編)」に掲載している。

注<sup>\*</sup> 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市(神奈川県)(以上1府8県、1政令指定都市は平成9年11月10日から発表)、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県(以上6県は平成10年6月15日から発表)、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県(以上1府11県は平成10年10月15日から発表)、東京都、長野県(以上1都1県は平成11年7月21日から発表)、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市(愛知県)(以上3県、1政令指定都市は平成12年1月12日から発表)、滋賀県(平成12年3月28日から発表)、富山県、香川県、大分県(以上3県は平成12年7月18日から発表)、佐賀県(平成13年3月22日から発表)、山梨県、川崎市(神奈川県)(以上1県、1政令指定都市は平成13年5月10日から発表)、高知県(平成13年7月19日から発表)、福島県(平成13年12月12日から発表)、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市(宮城県)(以上4県、1政令指定都市は平成14年3月20日から発表)、北海道、長崎県(以上1道1県、平成14年7月29日から発表)、沖縄県(平成15年3月10日から発表)の47都道府県、4政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所(平成16年5月26日から発表)。

注<sup>\*\*</sup> 平成19年10月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、気象庁、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、富山・石川・岐阜・長野県を中心とする総合観測として、歪集中帯大学合同地震観測グループ(北海道大学・弘前大学・東北大学・千葉大学・東京大学地震研究所・名古屋大学・京都大学防災研究所・金沢大学・福井工業高専・九州大学・鹿児島大学)が行っている自然地震観測のデータを利用している。また、能登半島地震合同観測グループ(東京大学地震研究所、北海道大学、東北大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学防災研究所、九州大学、鹿児島大学、防災科学技術研究所、産業技術総合研究所)が行っている自然地震観測のデータを利用している。このほか、2007年新潟県中越沖地震緊急観測グループのデータを利用している。

# 2007 年 10 月の全国の地震活動 (マグニチュード 4.0 以上)



10 月 1 日に神奈川県西部で M4.9 (最大震度 5 強) の地震があった。

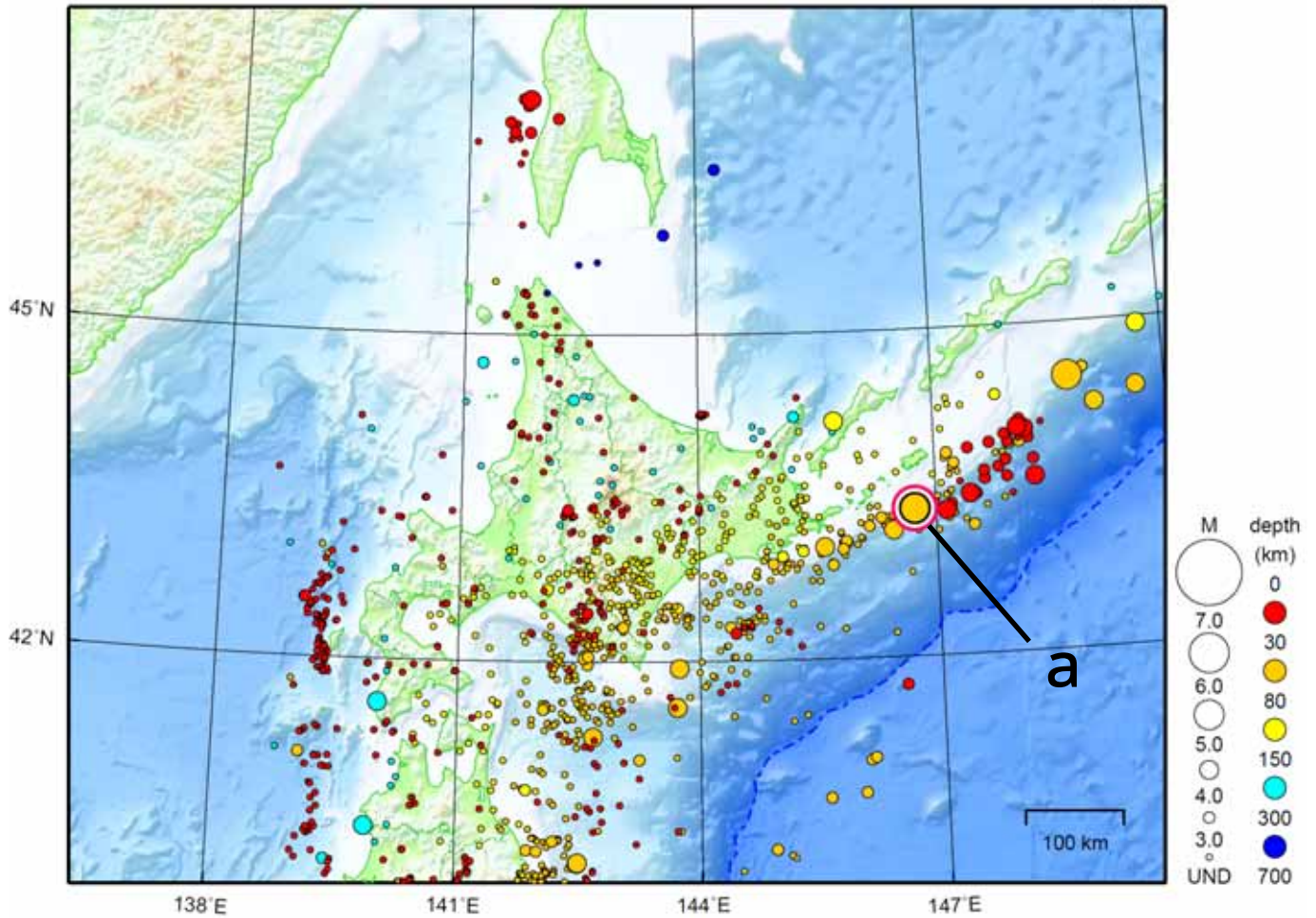
10 月 25 日に千島列島東方で M6.2 (米国地質調査所によるモーメントマグニチュードは 6.1、最大震度 1) の地震があった。

[図中に日時分、マグニチュードを付した地震は M5.0 以上の地震、または M4.0 以上で最大震度 5 弱以上を観測した地震である。また、上に表記した地震は M6.0 以上、または M4.0 以上で最大震度 5 弱以上を観測した地震である。]

# 北海道地方

2007/10/01 00:00 ~ 2007/10/31 24:00

N=1211



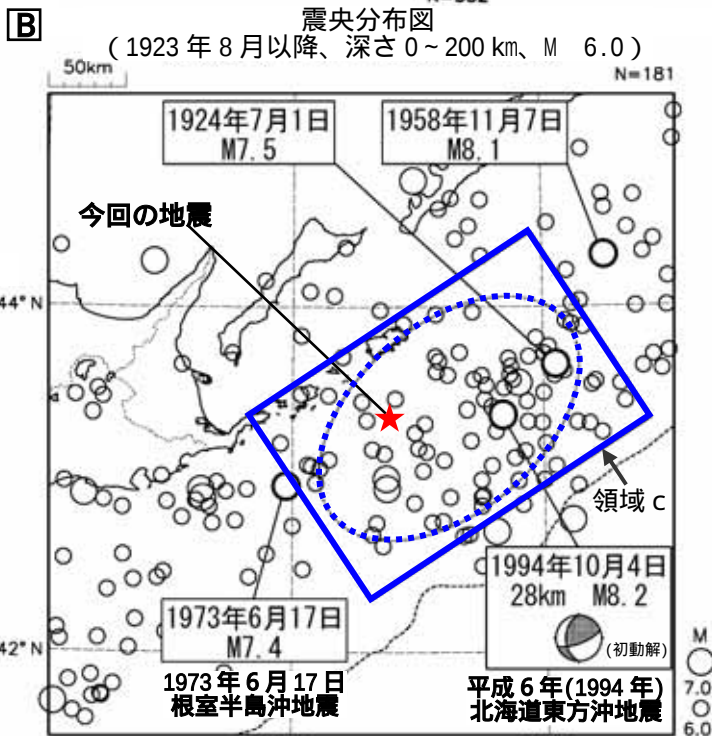
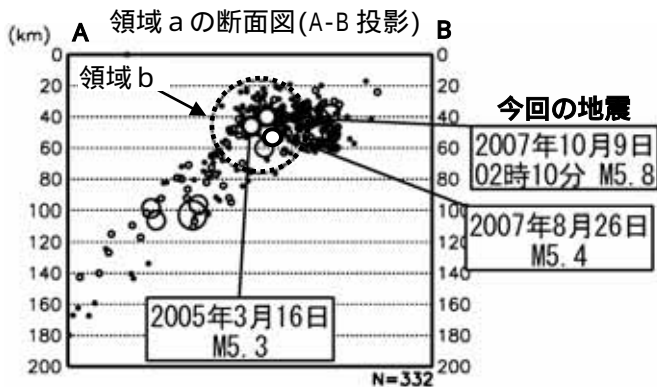
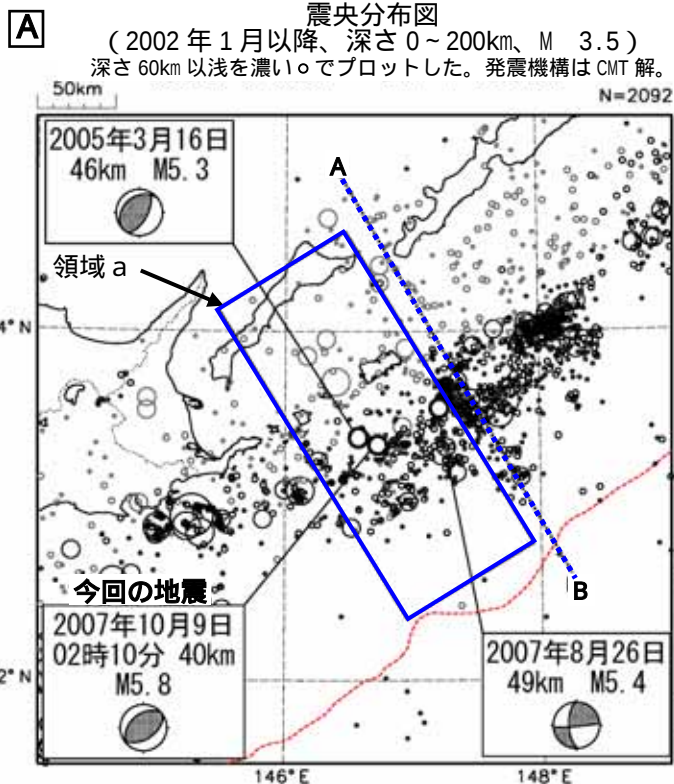
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a ) 10 月 9 日に北海道東方沖で M5.8 ( 最大震度 4 ) の地震があった。

[ 上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。 ]

気象庁・文部科学省

# 10月9日 北海道東方沖の地震

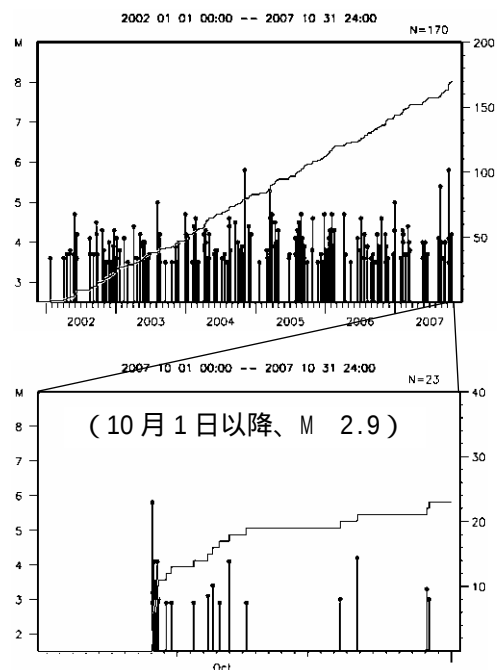


楕円は1994年北海道東方沖地震の大まかな余震域を示す

2007年10月9日02時10分に北海道東方沖の深さ40kmでM5.8(最大震度4)の地震が発生した。この地震の発震機構は南東-北西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は太平洋プレートの沈み込みに伴い発生した地震と考えられる。余震活動は9日11時30分にM4.1(最大震度2)を観測したがその後は収まってきている。

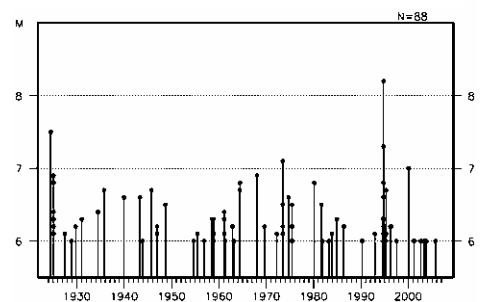
今回の地震の震源付近では2005年3月16日にM5.3、2007年8月26日にはM5.4の地震が発生しており、ともに最大震度3を観測している( **A** )。

領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近では1994年10月4日にM8.2の地震(1994年北海道東方沖地震、最大震度6)が発生している( **B** )。

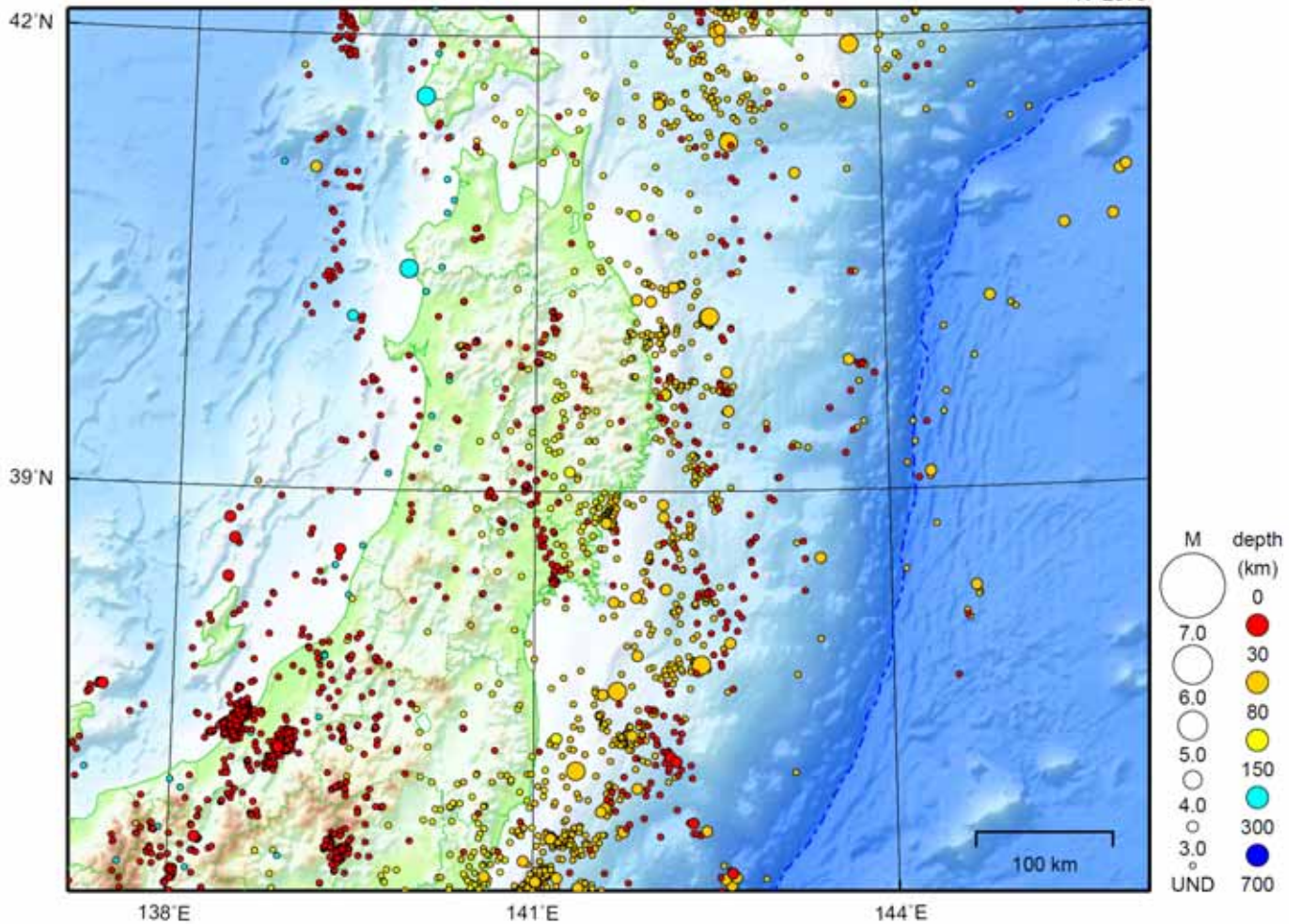
領域 c 内の地震活動経過図



# 東北地方

2007/10/01 00:00 ~ 2007/10/31 24:00

N=2679



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った活動はなかった。

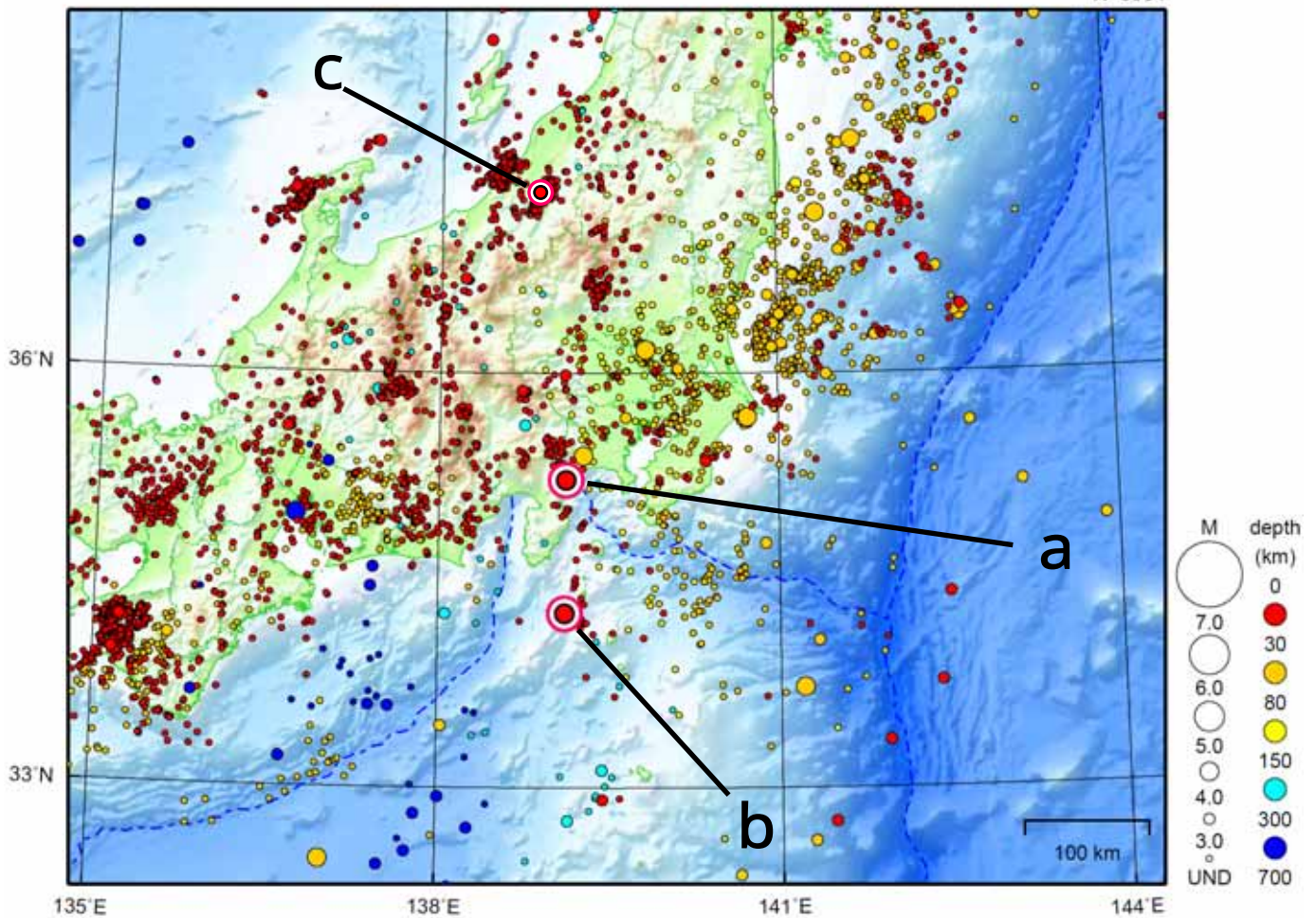
[ 上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 関東・中部地方

2007/10/01 00:00 ~ 2007/10/31 24:00

N=5034



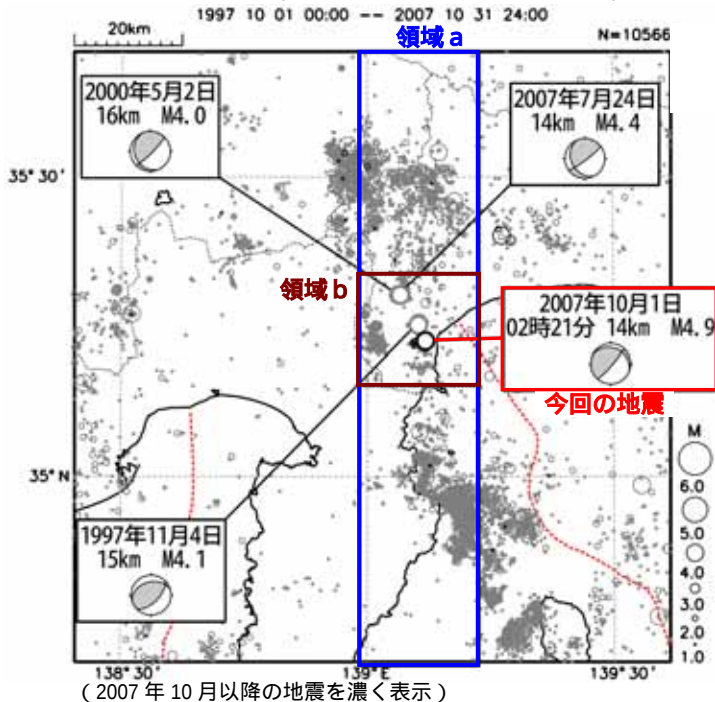
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a ) 10 月 1 日に神奈川県西部で M4.9 ( 最大震度 5 強 ) の地震があった。
- b ) 10 月 22 日に新島・神津島近海で M4.3 ( 最大震度 4 ) の地震があった。
- c ) 10 月 17 日に新潟県中越地方で M3.7 ( 最大震度 4 ) の地震があった。

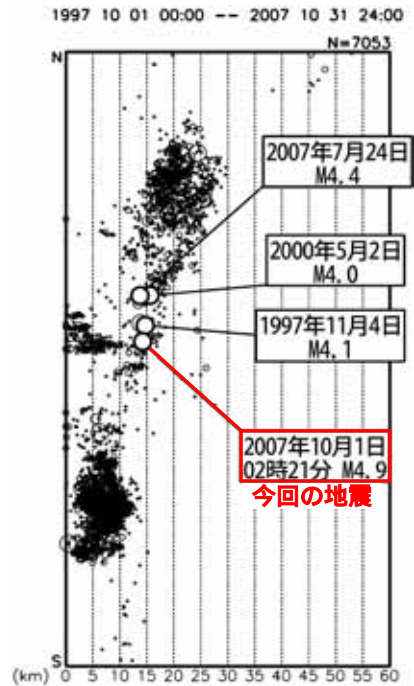
[ 上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。 ]

# 10月1日 神奈川県西部の地震

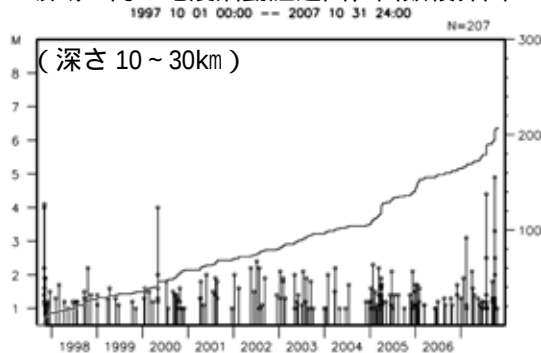
震央分布図（1997年10月以降、M 1.0）



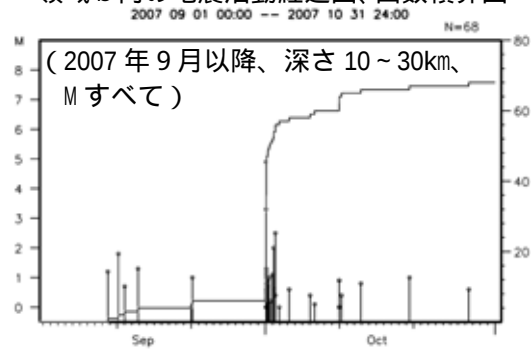
領域 a 内の南北断面図



領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図

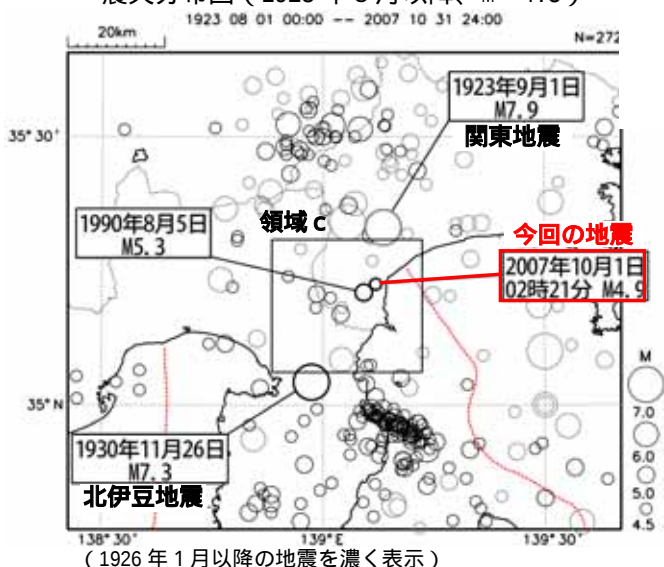


領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図

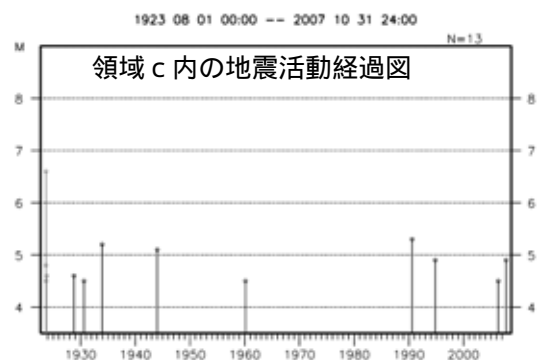


2007年10月1日02時21分に神奈川県西部の深さ14kmでM4.9(最大震度5強)の地震が発生した。発震機構は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型であり、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。余震は直後数時間活発であったが、2日程度でほぼ収まっている。今回の地震の震源付近(領域b)では、2007年7月24日にM4.4(最大震度3)の地震が発生するなど、M4以上の地震が時々発生している。

震央分布図（1923年8月以降、M 4.5）



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域c)で1923年の関東地震の活動の後では、1990年8月5日に発生したM5.3(最大震度4)の地震が最大である。

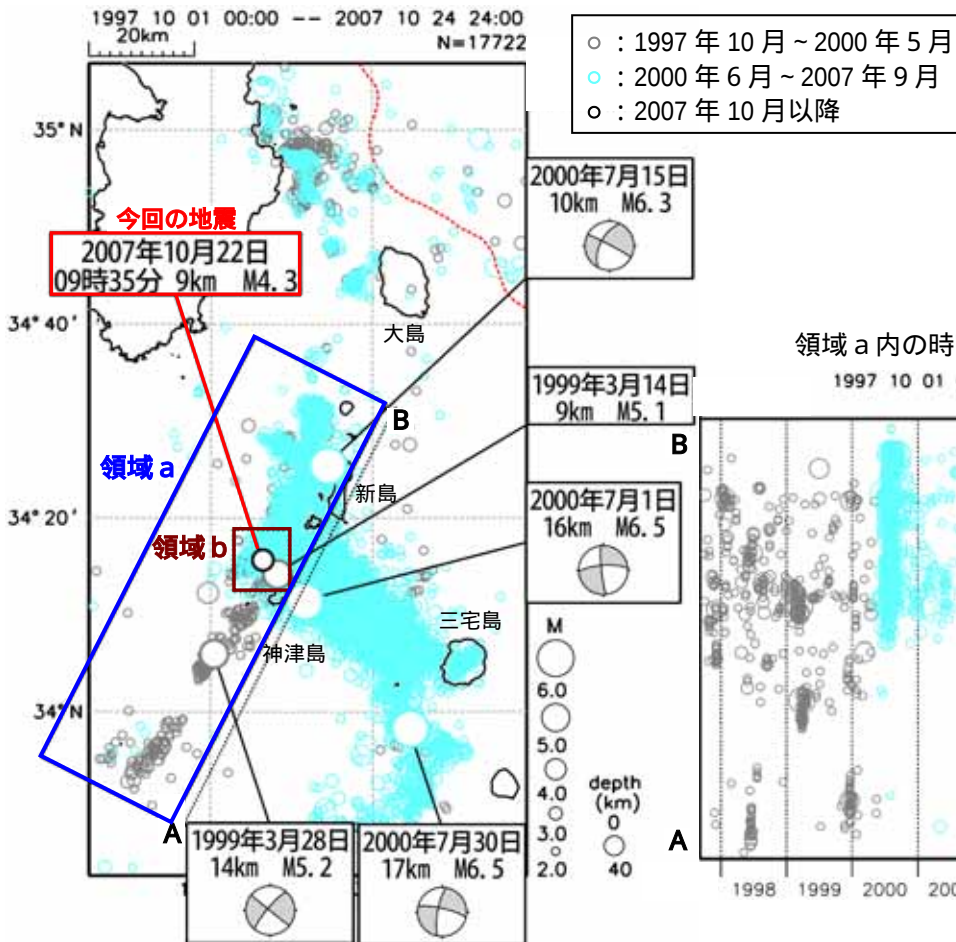


## 10月22日 新島・神津島近海の地震

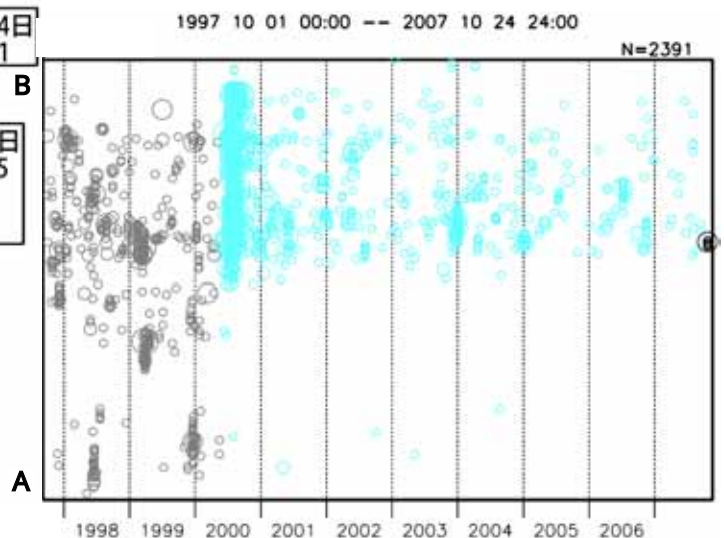
2007年10月22日09時35分に新島・神津島近海の深さ9kmでM4.3(最大震度4)の地震が発生した。活動は数時間で収まっている。

新島・神津島近海では、2000年に三宅島-神津島間で見られた活発な活動を境に、神津島の南西側での活動が見られなくなった。今回の地震は、最近の新島-神津島間の地震活動の南端付近に位置している。

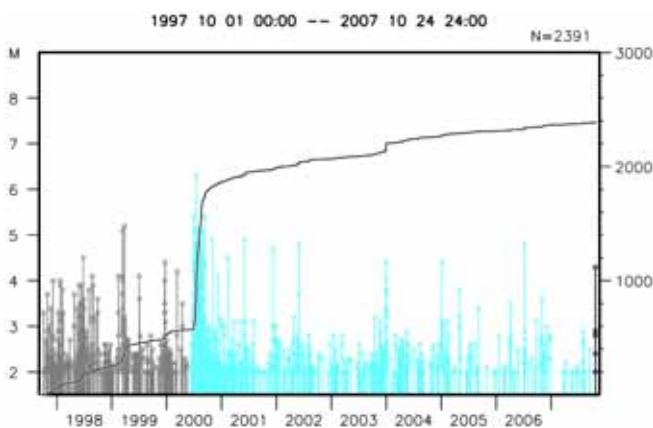
震央分布図(1997年10月以降、M 2.0)



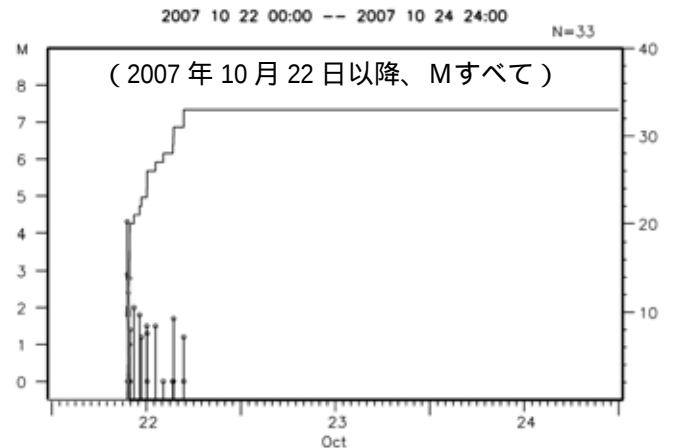
領域a内の時空間分布図(A-B投影)



領域a内の地震活動経過図、回数積算図



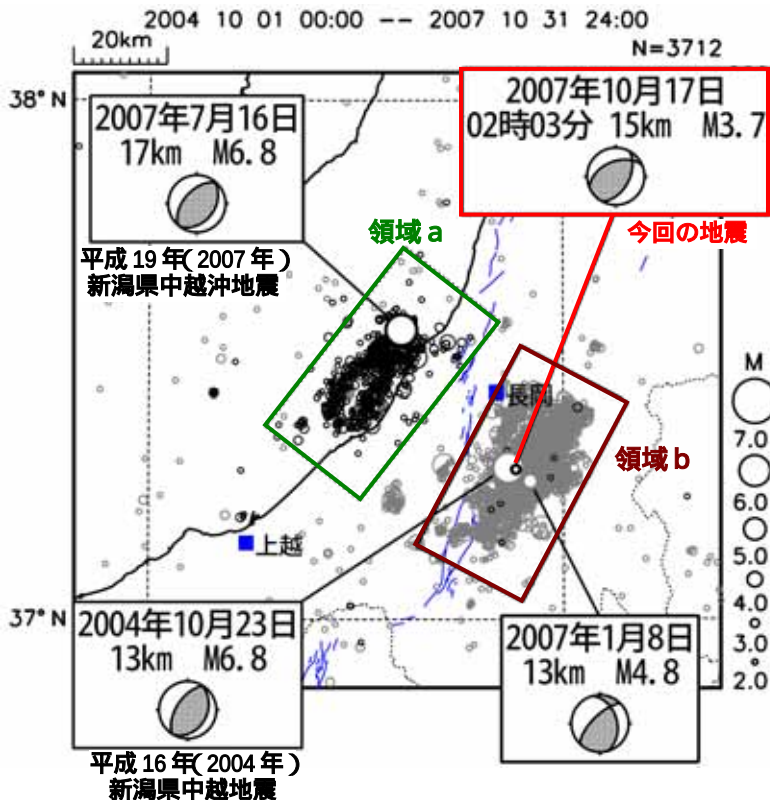
領域b内の地震活動経過図、回数積算図



# 10月17日 新潟県中越地方の地震

震央分布図（2004年10月以降、M 2.0）

[2007年7月16日以降の活動を濃く表示]

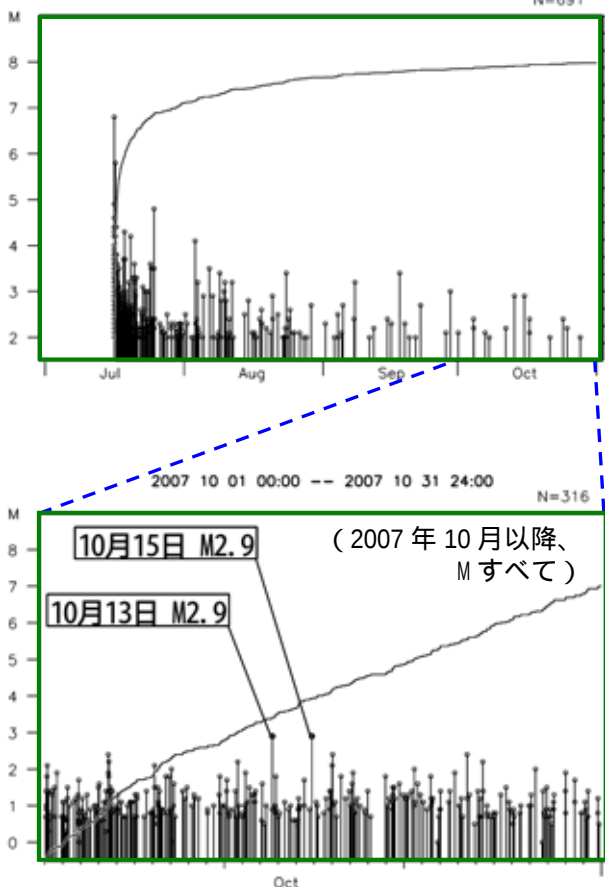


2007年10月17日02時03分に新潟県中越地方の深さ15kmでM3.7（最大震度4）の地震が発生した。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。この地震は「平成16年（2004年）新潟県中越地震」の余震域内で発生した地震で、震度4以上を観測したのは、2007年1月8日に発生したM4.8（最大震度4）の地震以来である。今回の地震の前後で地震活動に変化は見られない。

なお、「平成19年（2007年）新潟県中越沖地震」の余震は減衰しており、10月中の最大は、10月13日および15日に発生したM2.9（ともに最大震度1）の地震であった。

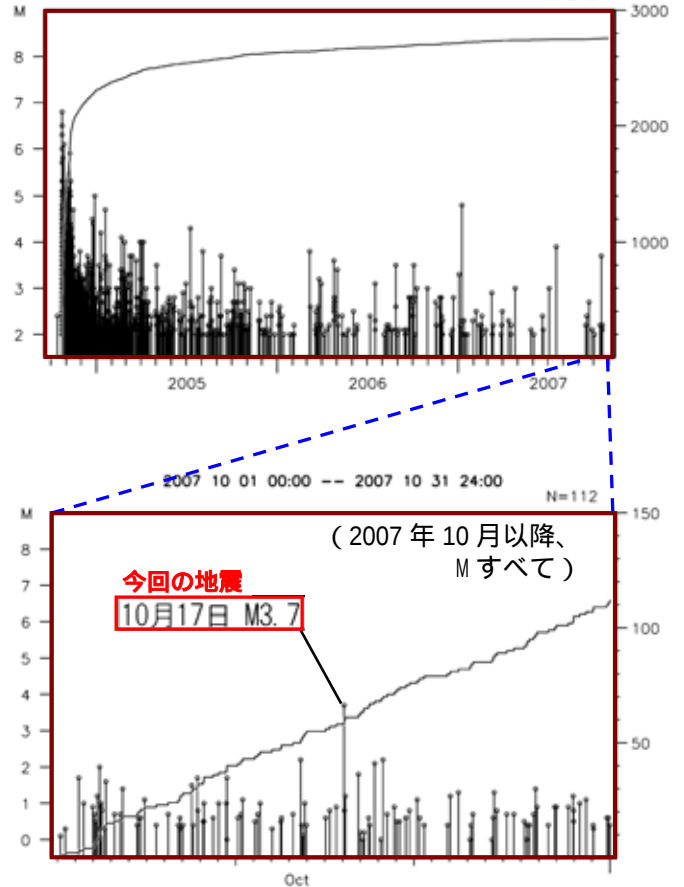
領域a内の地震活動経過図、回数積算図

2007 07 01 00:00 -- 2007 10 31 24:00 N=691



領域b内の地震活動経過図、回数積算図

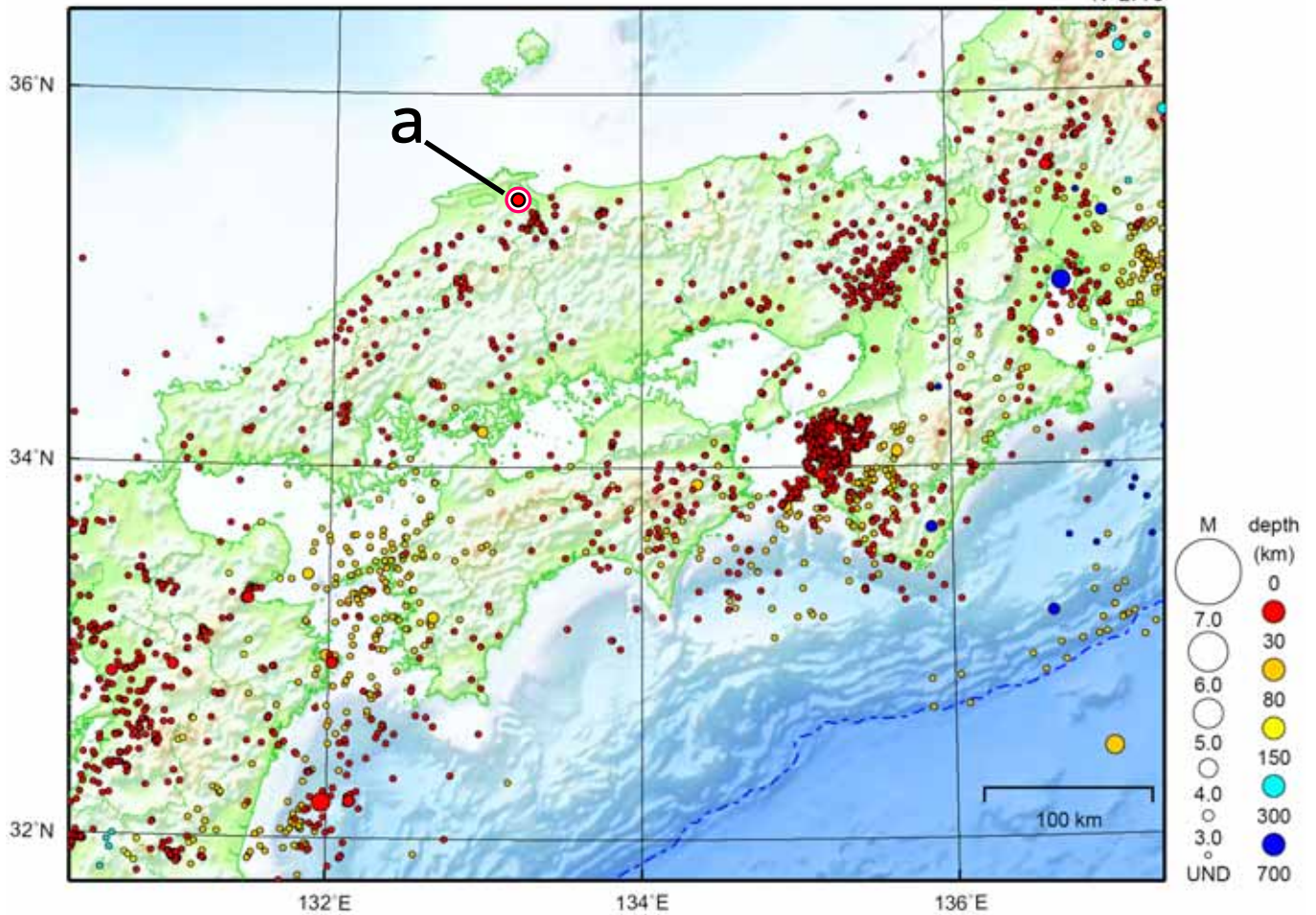
2004 10 01 00:00 -- 2007 10 31 24:00 N=2757



# 近畿・中国・四国地方

2007/10/01 00:00 ~ 2007/10/31 24:00

N=2775



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

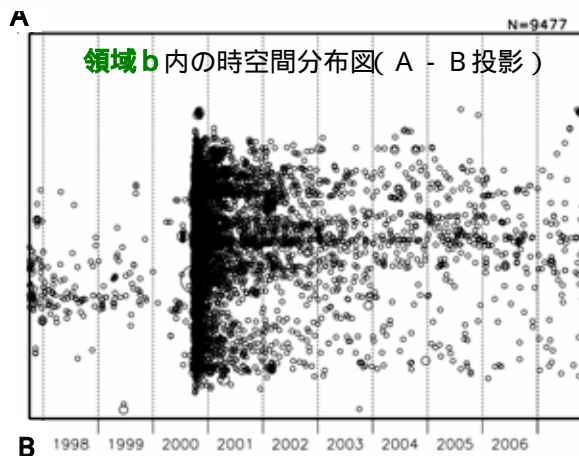
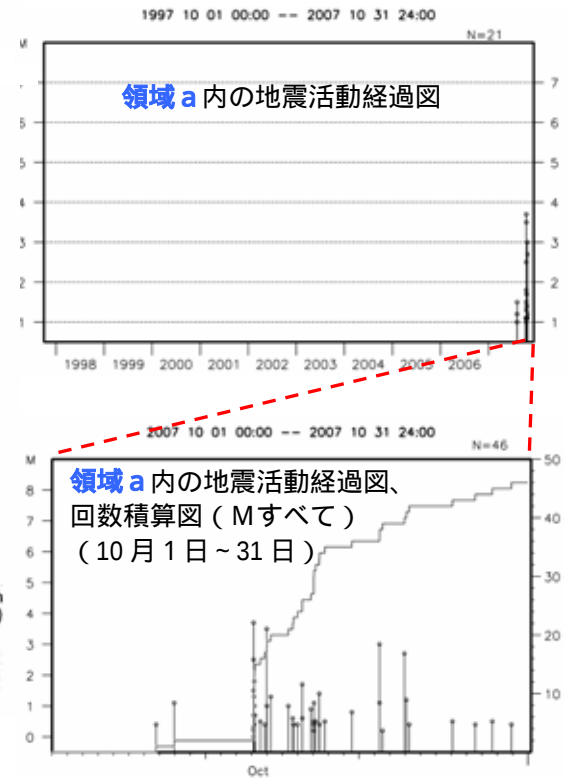
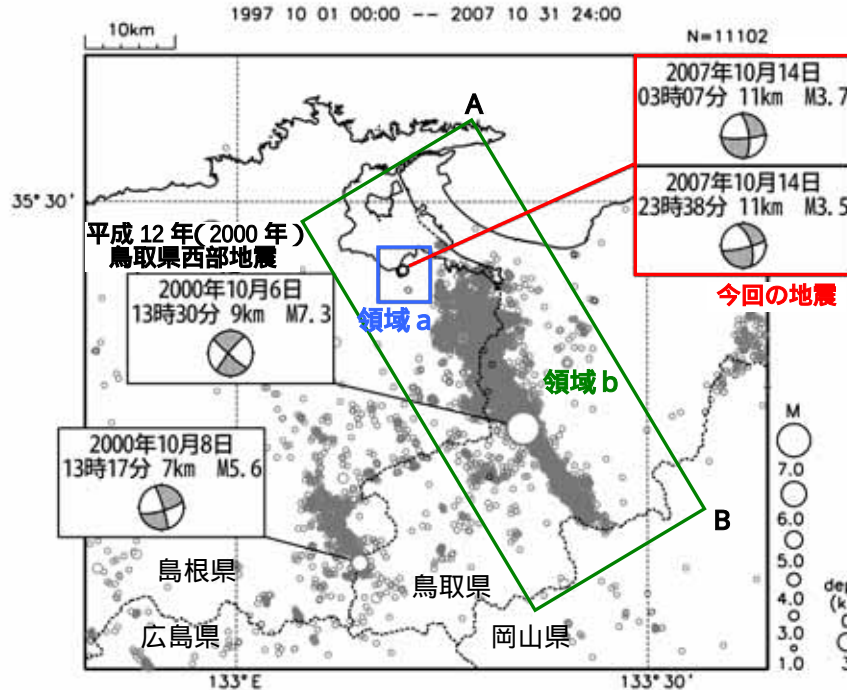
a ) 10 月 14 日に島根県東部で M3.7 ( 最大震度 4 ) の地震があった。

[ 上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。 ]

気象庁・文部科学省

# 10月14日 島根県東部の地震

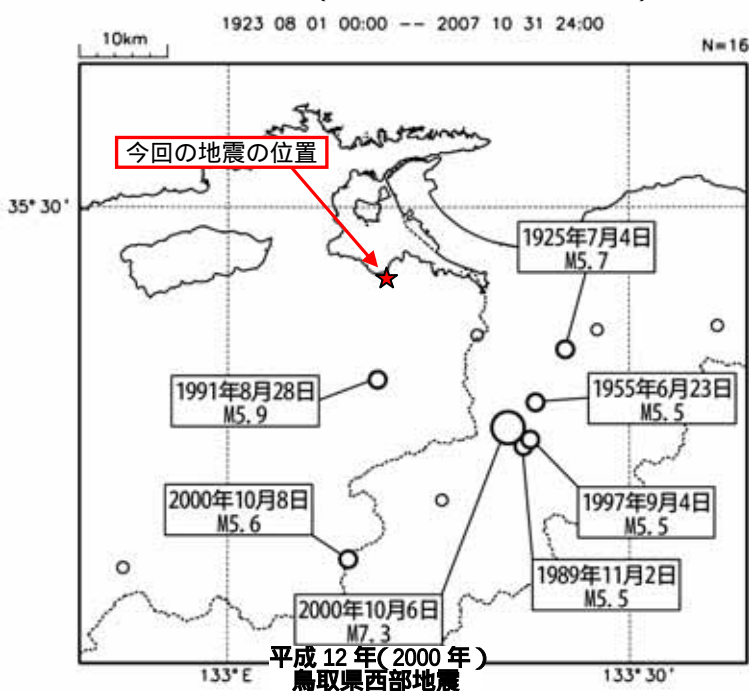
震央分布図（1997年10月以降、M 1.0）



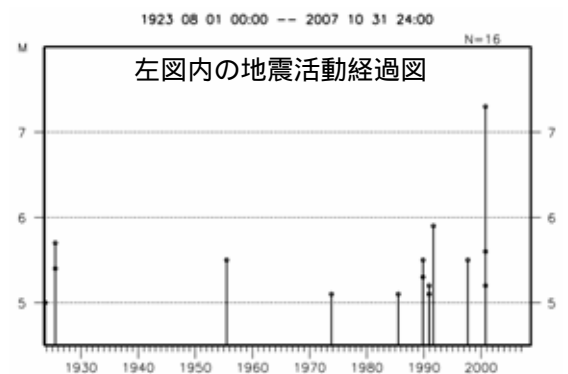
2007年10月14日03時07分と23時38分に島根県東部の深さ11kmでM3.7（最大震度4）とM3.5（最大震度3）の地震が発生した。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、この付近の地震によく見られるタイプであった。地震活動は月末までにおおむね収まった。

今回の地震は、「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」（M7.3）の余震域の北西端からやや外れたところで発生し、震央付近では8月に極小さな活動があった以外、これまで地震活動がほとんど観測されていない。

震央分布図（1923年8月以降、M 5.0）

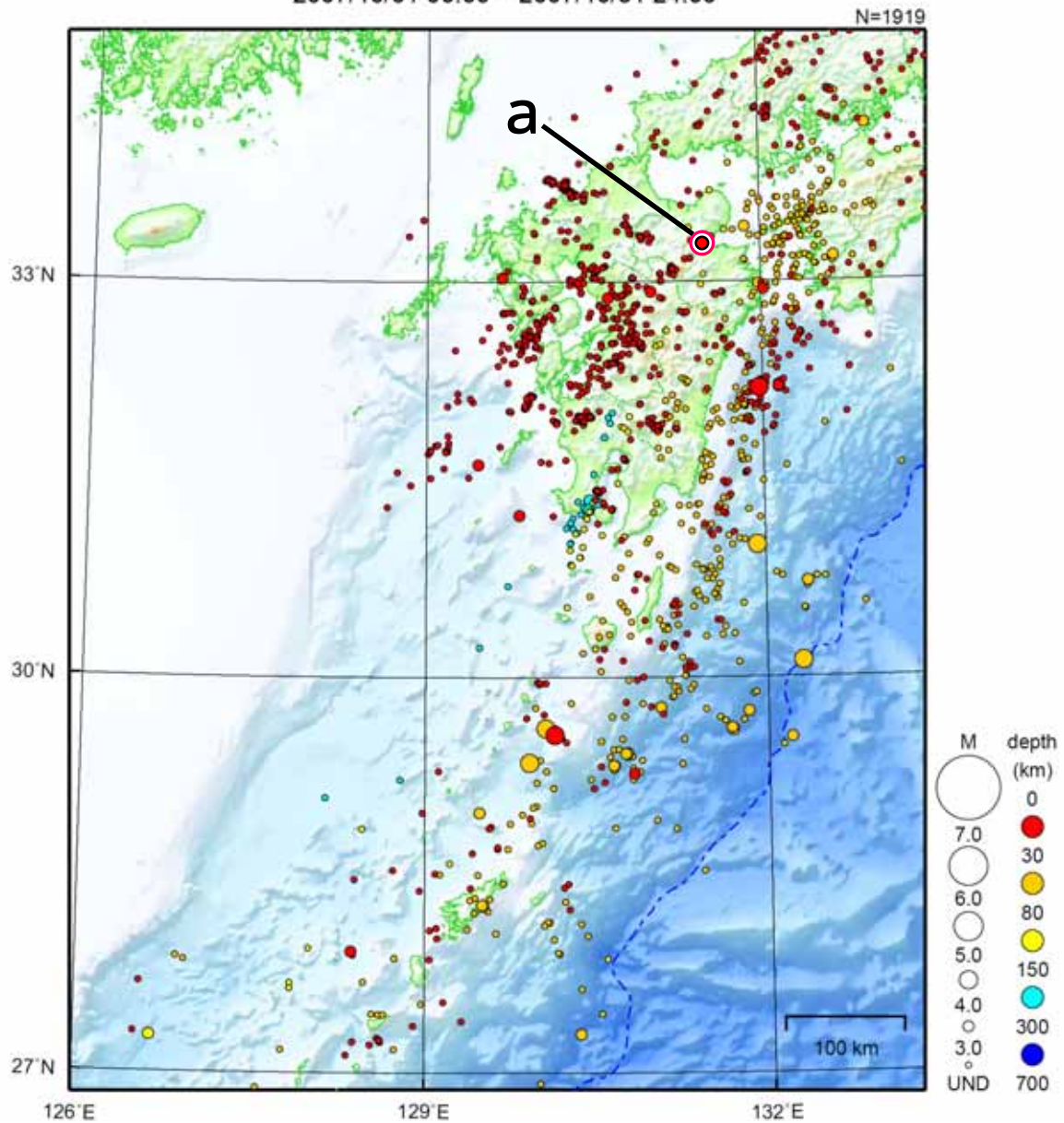


1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近にはM5.0以上の地震は観測されていない。震央の約10km南側では、1991年8月28日にM5.9の地震が発生している。



# 九州地方

2007/10/01 00:00 ~ 2007/10/31 24:00



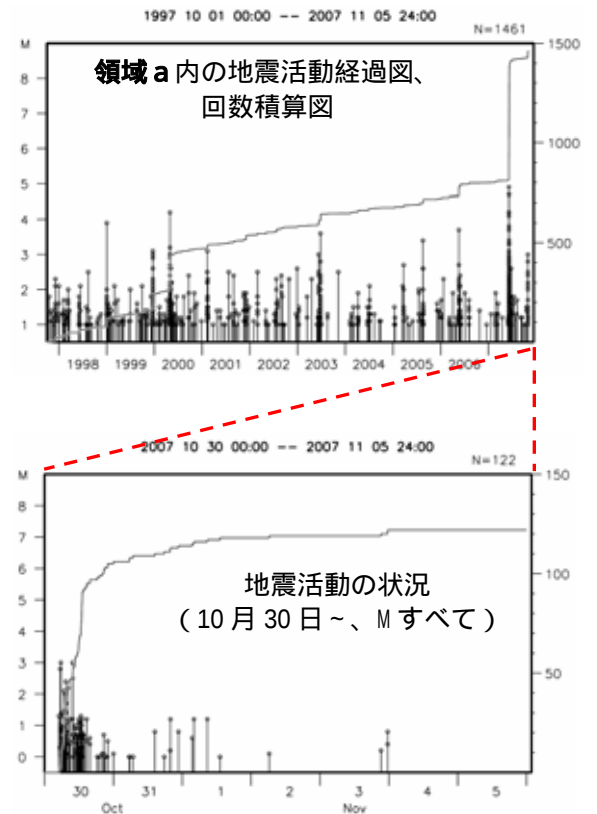
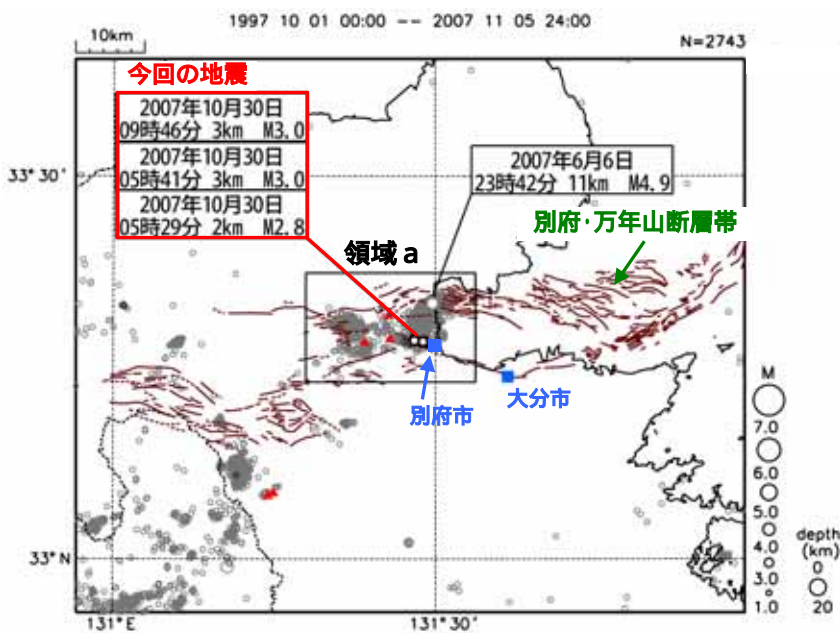
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 10月30日に大分県中部で M3.0 (最大震度 3) の地震など、震度 1 以上を観測した地震が 12 回あった。

[ 上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。 ]

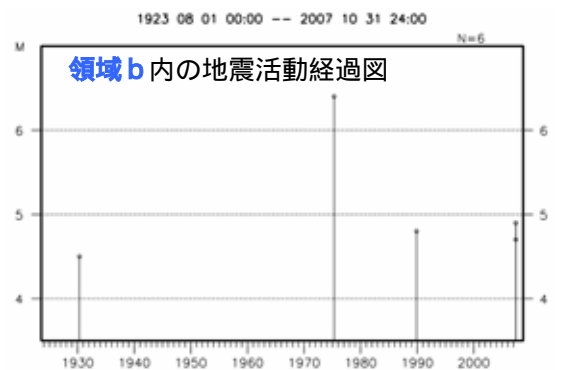
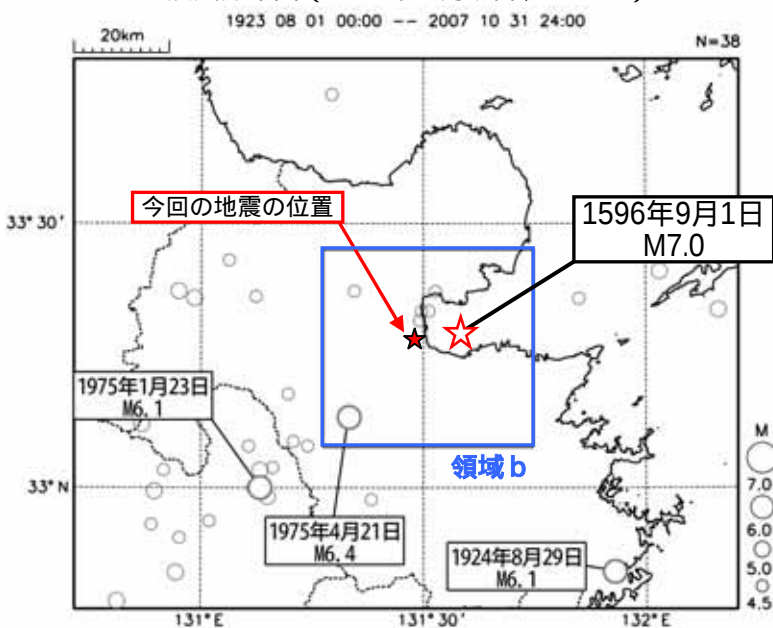
## 10月30日 大分県中部の地震

震央分布図（1997年10月以降、M 1.0）



2007年10月30日に大分県中部（別府市付近）で小規模な地震活動があり、05時29分（M2.8）05時41分（M3.0）および09時46分（M3.0）の地震でそれぞれ最大震度3を観測した。今回の活動域付近では過去にも同様な地震活動がたびたび観測されている。最近では2007年6月6日のM4.9（最大震度4）の地震を最大とする活動があった。

震央分布図（1923年8月以降、M 4.5）



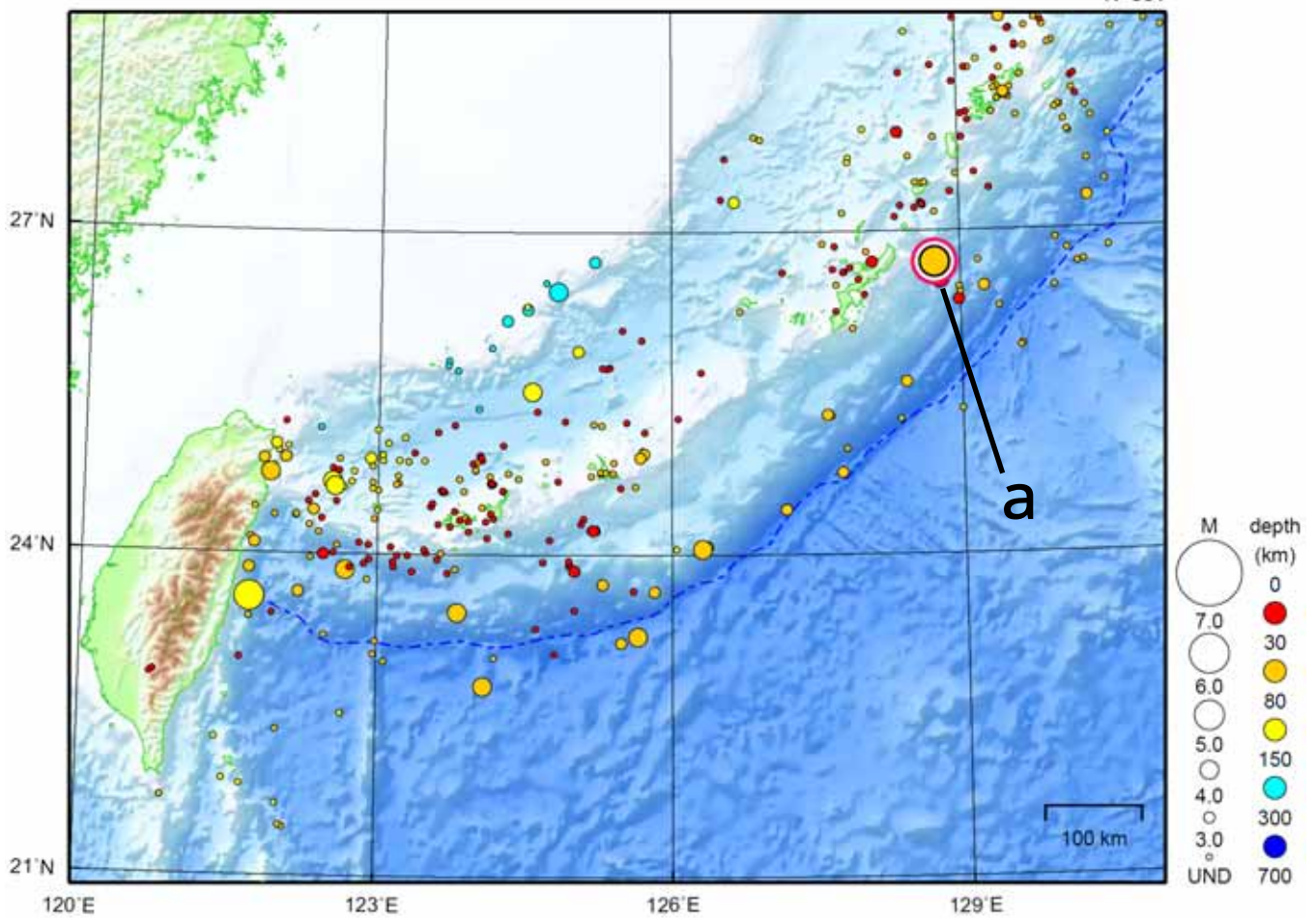
1923年8月以降、今回の地震の震央付近にはM5.0以上の地震は観測されていない。南西にやや離れたところでは1975年4月21日にM6.4の地震が発生している。

なお、歴史記録等によると、1596年9月1日に別府湾でM7.0の地震が発生している。

# 沖縄地方

2007/10/01 00:00 ~ 2007/10/31 24:00

N=351



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

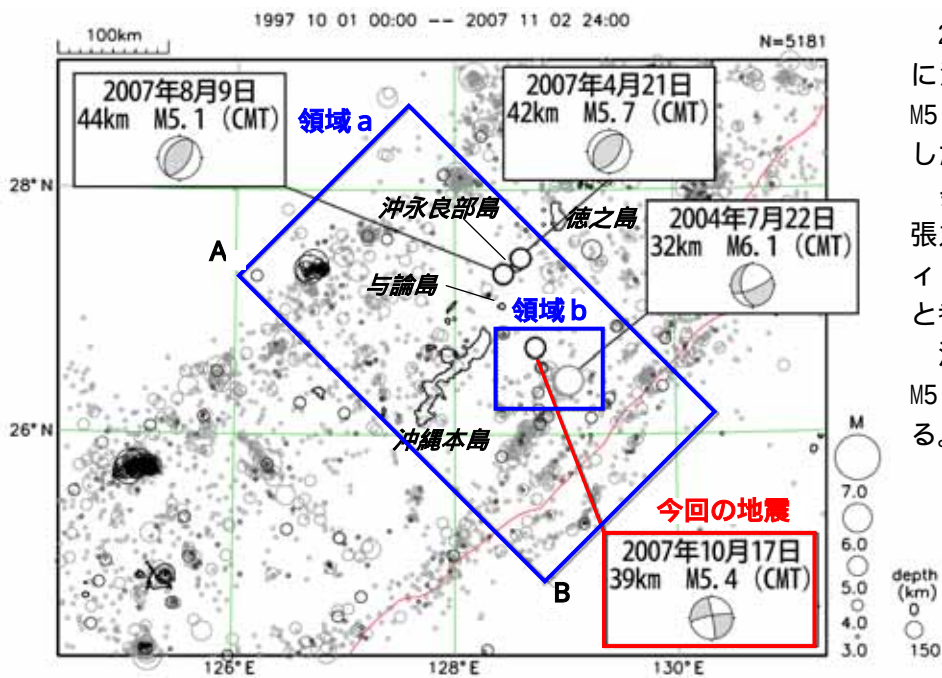
a ) 10 月 17 日に沖縄本島近海で M5.4 ( 最大震度 3 ) の地震があった。

[ 上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。 ]

気象庁・文部科学省

# 10月17日 沖縄本島近海の地震

震央分布図(1997年10月以降、M 3.0、今年1月以降を濃く表示)

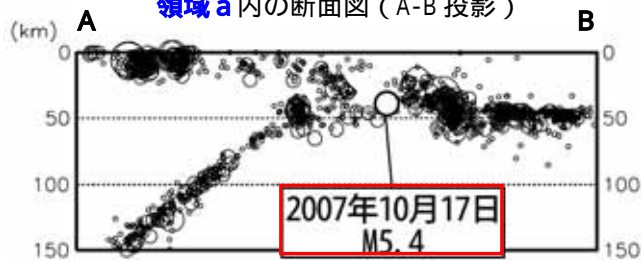


2007年10月17日19時58分に沖縄本島近海の深さ39kmでM5.4(最大震度3)の地震が発生した。

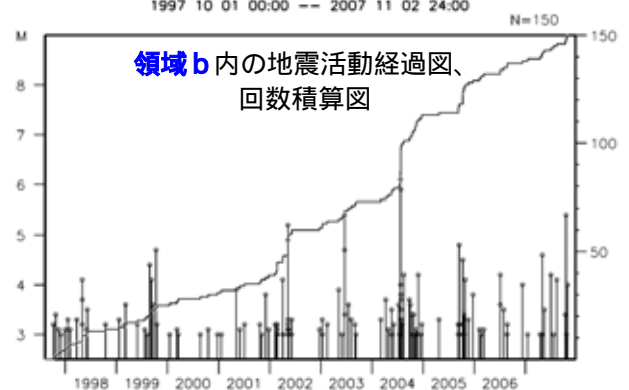
発震機構は北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部の地震と考えられる。

沖縄本島およびその周辺では、M5程度の地震が時々発生している。

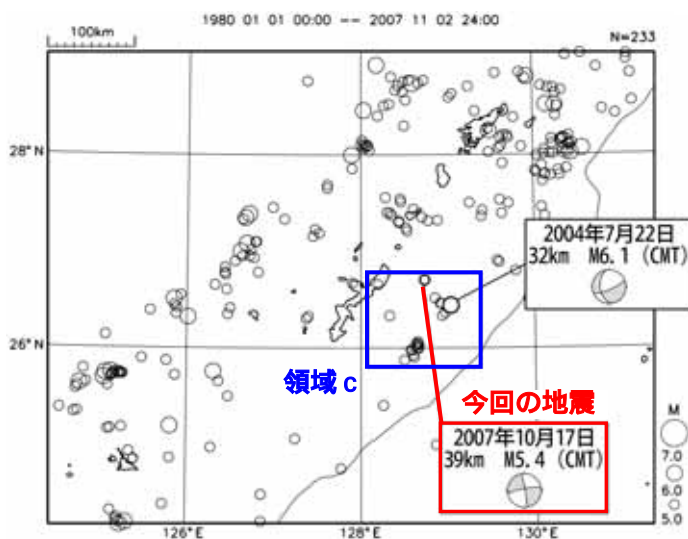
領域a内の断面図(A-B投影)



領域b内の地震活動経過図、回数積算図

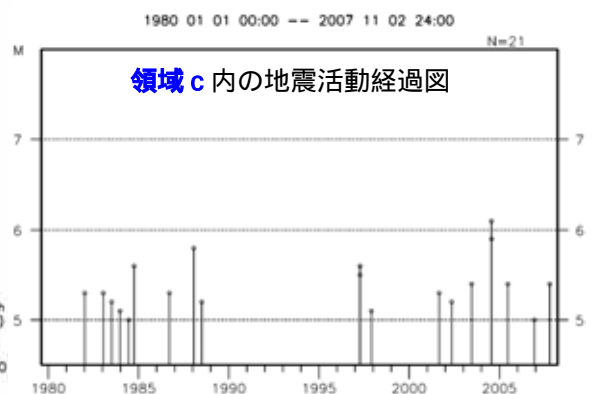


震央分布図(1980年1月以降、M 5.0)



1980年以降、周辺ではM5クラスの地震は時々発生しているが、M6以上の地震は多くない。

領域c内の地震活動経過図



## ● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

### [概況]

9月26日～10月2日及び10月6日～12日にかけて、長野県南部～愛知県東部で深部低周波地震活動があり短期的スロースリップ（ゆっくり滑り）の発生が観測された。

### [地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

10月29日に気象庁において第257回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会(定例会)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した(図2～図5)。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

全般的には顕著な地震活動はありません。静岡県中部ではプレート内で通常より活動レベルが低く、地殻内ではやや高い状態になっていますが、その他の地域では概ね平常レベルです。

東海地域及びその周辺の地殻変動には注目すべき特別な変化は観測されていません。

なお、愛知県のプレート境界における「短期的ゆっくり滑り」に起因すると見られる地殻変動と低周波地震活動が9月26日～10月2日及び10月6日～12日の2度にわたり観測されました。この付近では同様の現象が本年6月にも観測されています。

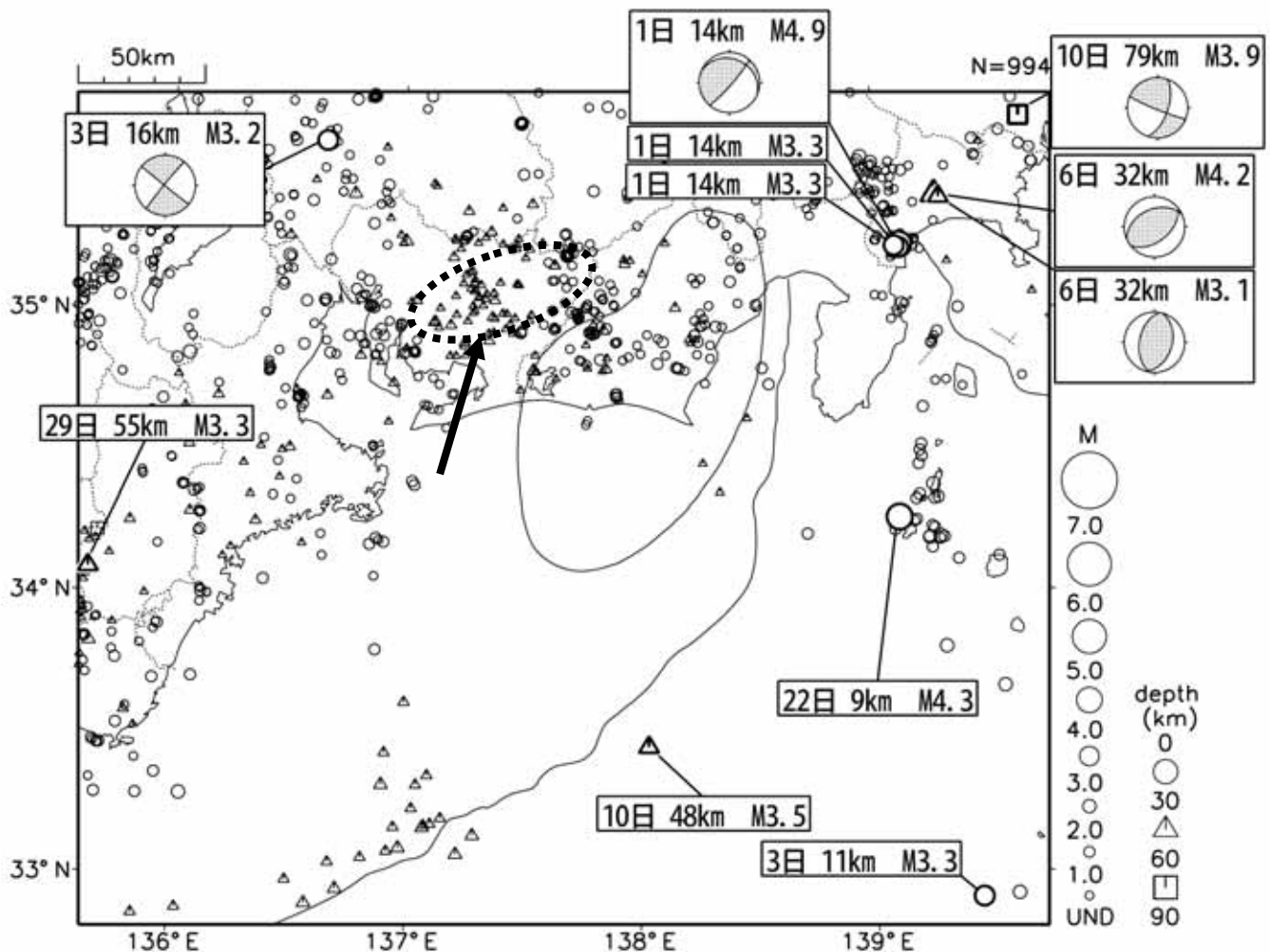


図1 震央分布図(2007年10月1日～31日:深さ90km以浅、Mすべて。M3.0以上の地震に「日、深さ、M」を付けた。すぐ下の図はP波初動による発震機構(下半球投影)。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。)

9月26日～10月2日及び10月6日～12日にかけて、長野県南部から愛知県西部にかけてのプレート境界の短期的なゆっくり滑りに起因すると見られる、歪変化と深部低周波地震活動が観測された（平成19年9月地震・火山月報（防災編）を参照）。同様の現象は2007年6月にも観測されている（平成19年6月地震・火山月報（防災編）を参照）。この現象の詳細については平成17年7月地震・火山月報（防災編）を参照。）

1日02時21分、神奈川県西部の深さ14kmでM4.9の地震があり、最大震度5強を観測した。発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。同日02時22分及び02時23分にM3.3の余震が発生している。

3日12時08分、八丈島近海の深さ11kmでM3.3の地震が発生した。

3日21時35分、岐阜県美濃中西部の深さ16kmでM3.2の地震があり、最大震度1を観測した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、陸域の地殻内で発生した地震である。

6日03時46分、神奈川県西部の深さ32kmで

M4.2の地震があり、最大震度3を観測した。発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。同日23時48分にM3.1の余震が発生し、最大震度2を観測している。10日15時23分、三重県南東沖の深さ48kmでM3.5の地震が発生した。

10日23時43分、東京都23区の深さ79kmでM3.9の地震があり、最大震度2を観測した。発震機構は北北西-南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。

22日09時35分、新島・神津島近海の深さ9kmでM4.3の地震があり、最大震度4を観測した。

29日15時03分、奈良県の深さ55kmでM3.3の地震があり、最大震度1を観測した。フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。

注：本文中の番号は、図1中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図1)と「固着域」(図4)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

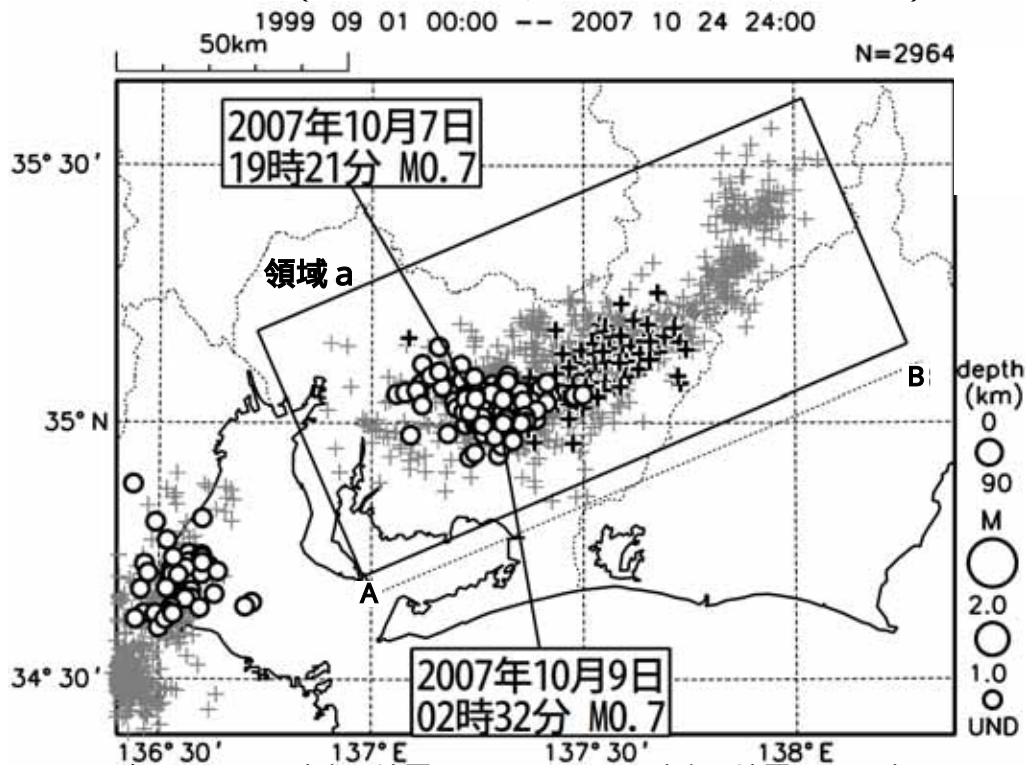
・「クラスタ除去」(図4と図5)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的な群(クラスタ)で、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。震央距離が3km以内、発生時間差が7日以内の地震をクラスタと見なし、最大地震で代表させている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和53年(1978年)12月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域」(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成14年(2002年)4月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる173市町村(平成19年4月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード8クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度6弱以上(一部地域では震度5強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。気象庁では東海地震の直前の前兆現象を捕らえるため、地震、地殻変動等の観測データを常時監視している。

# 2007 年 9 月 ~ 10 月 長野県南部 ~ 愛知県西部 低周波地震

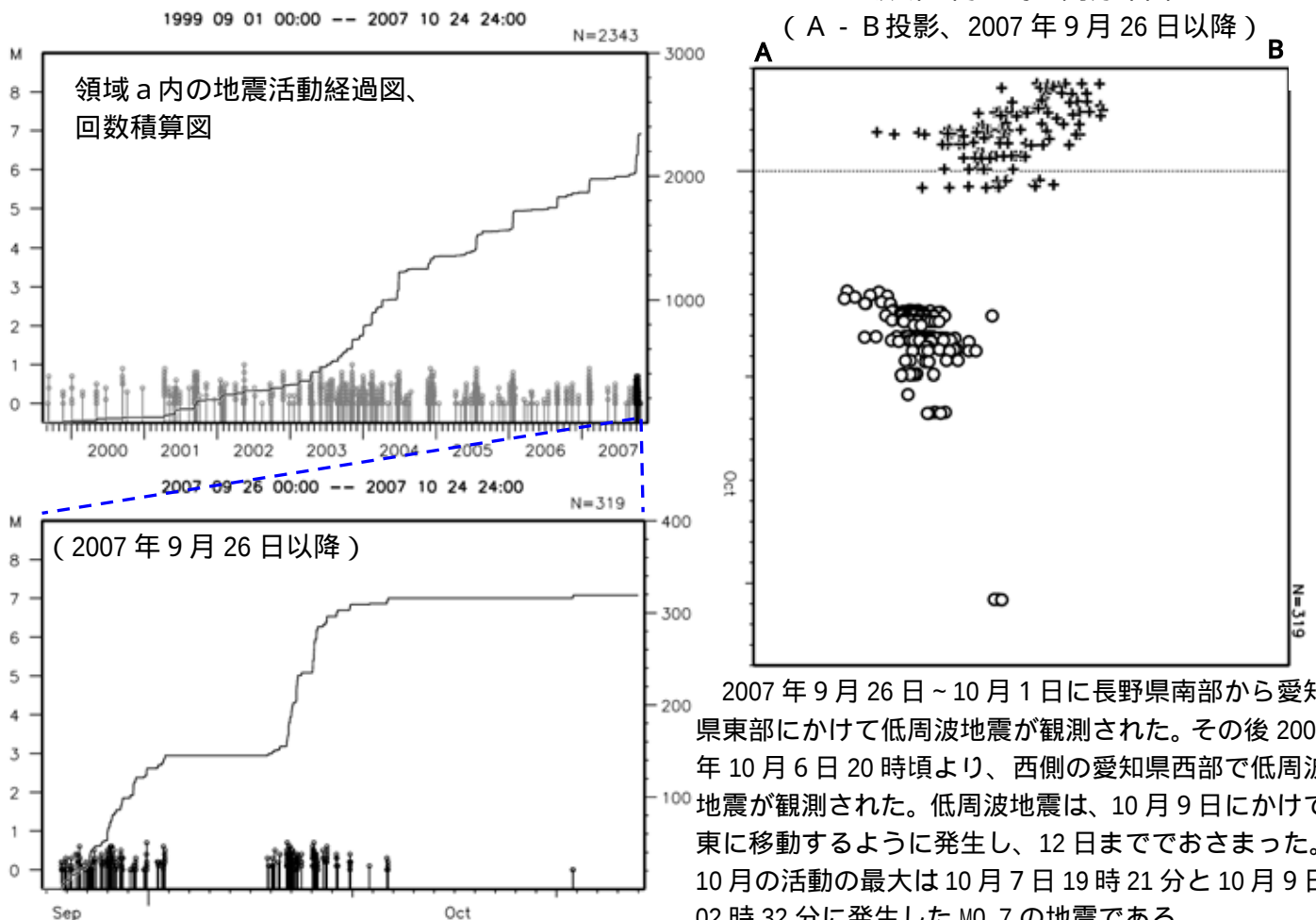
震央分布図 (低周波地震のみ、1999 年 9 月以降、M すべて)



[ 2007 年 9 月 26 日以降の地震を +、10 月 6 日以降の地震を ○ で表示している。]

領域 a 内の時空間分布図

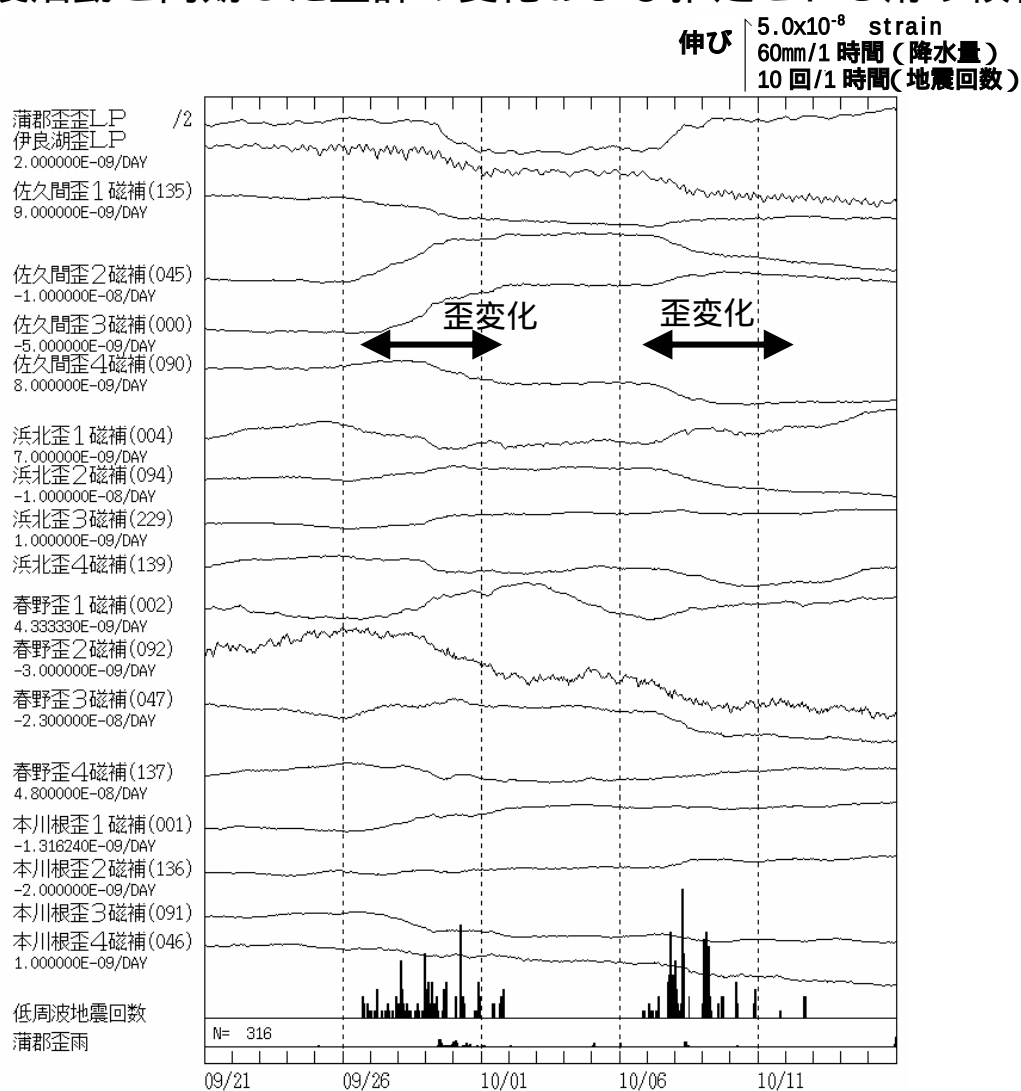
( A - B 投影、2007 年 9 月 26 日以降 )



2007 年 9 月 26 日 ~ 10 月 1 日に長野県南部から愛知県東部にかけて低周波地震が観測された。その後 2007 年 10 月 6 日 20 時頃より、西側の愛知県西部で低周波地震が観測された。低周波地震は、10 月 9 日にかけて東に移動するように発生し、12 日まででおさまった。10 月の活動の最大は 10 月 7 日 19 時 21 分と 10 月 9 日 02 時 32 分に発生した M0.7 の地震である。

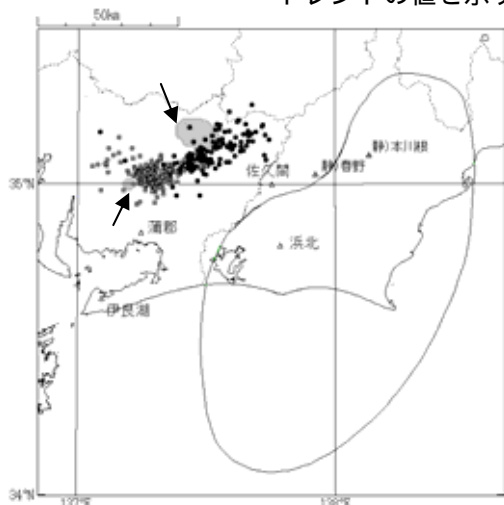
図 2 2007 年 9 月 ~ 10 月長野県南部 ~ 愛知県西部の低周波地震

# 低周波地震活動と同期した歪計の変化および推定される滑り候補点



2007年9月21日から10月15日にかけての歪計の時系列図

気圧、潮汐、磁気補正を行ったデータを使用。観測点名下の数値は除去した長期トレンドの値を示す。春野、本川根は静岡県整備の観測点である。



歪変化より推定される滑り候補点

黒丸(●)は2007年9月26日から10月5日0時までに発生した低周波地震の震央を示し、灰色丸(●)は2007年10月5日から10月22日0時までに発生した低周波地震の震央を示す。また、灰色の領域は、それぞれ上図中の期間の歪変化から推定された滑り候補点の位置を示す。

図3 低周波地震活動と同期した歪計の変化および推定される滑り候補点

# 東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2007年10月24日 現在

|                | ①<br>固着域      |                    | ②<br>愛知県      |                    | ③<br>浜名湖    |               |             | ④<br>駿河湾     |
|----------------|---------------|--------------------|---------------|--------------------|-------------|---------------|-------------|--------------|
|                | 地殻内           | フィリ<br>ピン海<br>プレート | 地殻内           | フィリ<br>ピン海<br>プレート | フィリピン海プレート内 |               |             | 全域           |
|                |               |                    |               |                    | 西側          | 全域            | 東側          |              |
| 短期活動指数         | 6             | 6                  | 7             | 6                  | 3           | 2             | 2           | 1            |
| 短期地震回数<br>(平均) | 10<br>(6.31)  | 8<br>(5.90)        | 20<br>(13.23) | 19<br>(14.08)      | 1<br>(2.46) | 2<br>(5.91)   | 1<br>(3.45) | 1<br>(6.06)  |
| 中期活動指数         | 7             | 7                  | 8             | 2                  | 2           | 4             | 5           | 1            |
| 中期地震回数<br>(平均) | 28<br>(18.93) | 25<br>(17.69)      | 55<br>(39.68) | 35<br>(42.24)      | 2<br>(4.93) | 10<br>(11.82) | 8<br>(6.90) | 6<br>(12.12) |

\* Mしきい値： M $\geq$ 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4：駿河湾

\* クラスタ除去：震央距離が $\Delta r$ 以内、発生時間差が $\Delta t$ 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

\* 対象期間：短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

\* 基準期間：1997年－2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年－2000年（3年間）：浜名湖

1991年－2000年（10年間）：駿河湾

[各領域の説明] ① 固着域：固着していると考えられる領域。

② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくりすべり）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

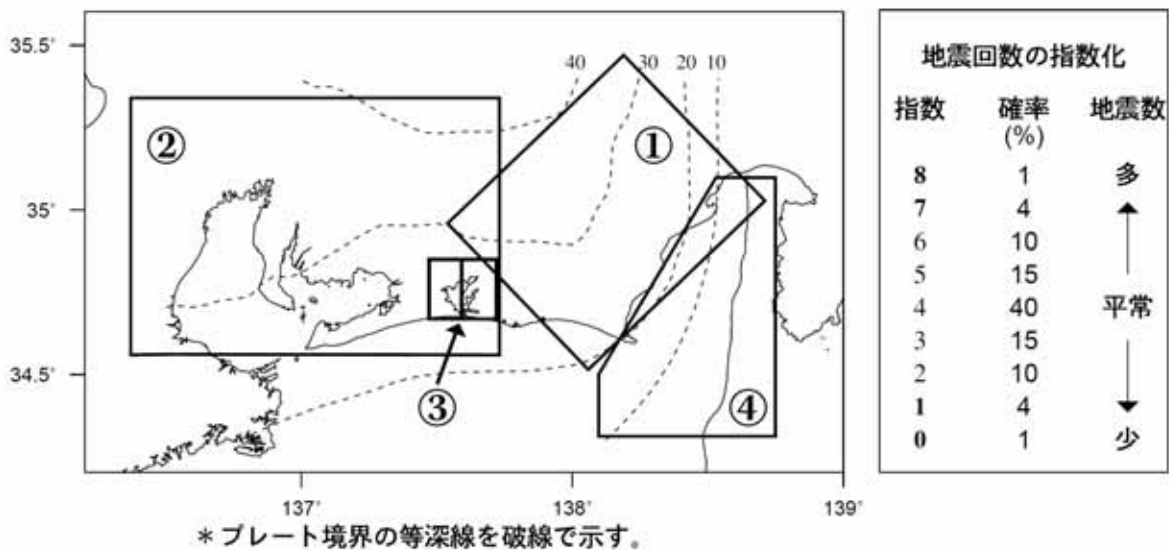


図4 東海地域の地震活動指数

固着域と愛知県の地殻内で活動指数が高く、駿河湾で低かった他は、ほぼ平常の活動であった。

# 浜名湖（フィリピン海プレート内）

1995/ 1/ 1~2007/10/24 M ≥ 1.1 \* クラスタ除去したデータ

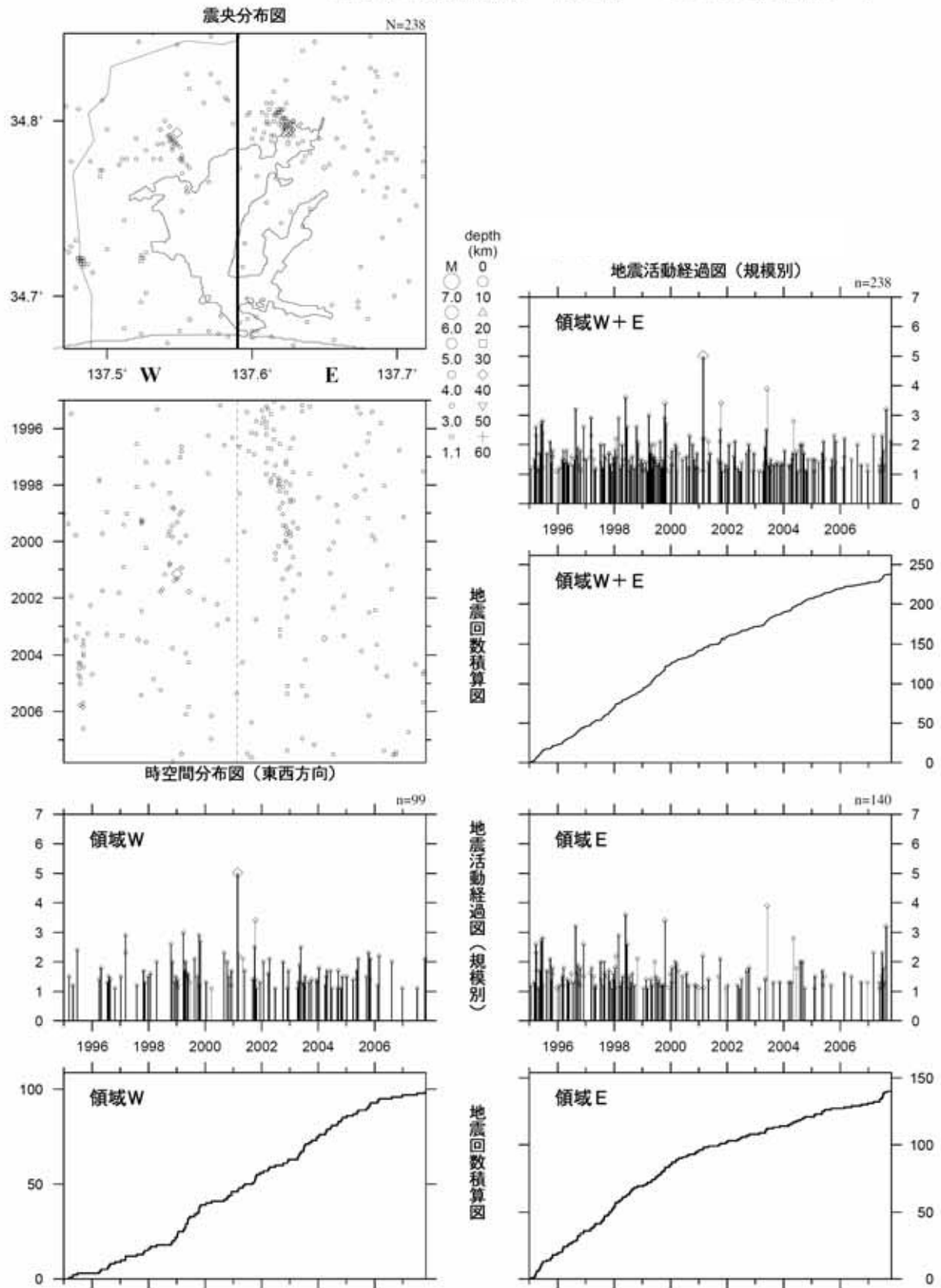


図5 浜名湖付近のフィリピン海プレート内の地震活動

領域Eでは2000年終わりごろからの活動の低下が継続していたが、2007年7月～9月ごろにかけて活動が回復した。今期は再び低下傾向である。領域Wは2006年以降、活動が低下した状況である。

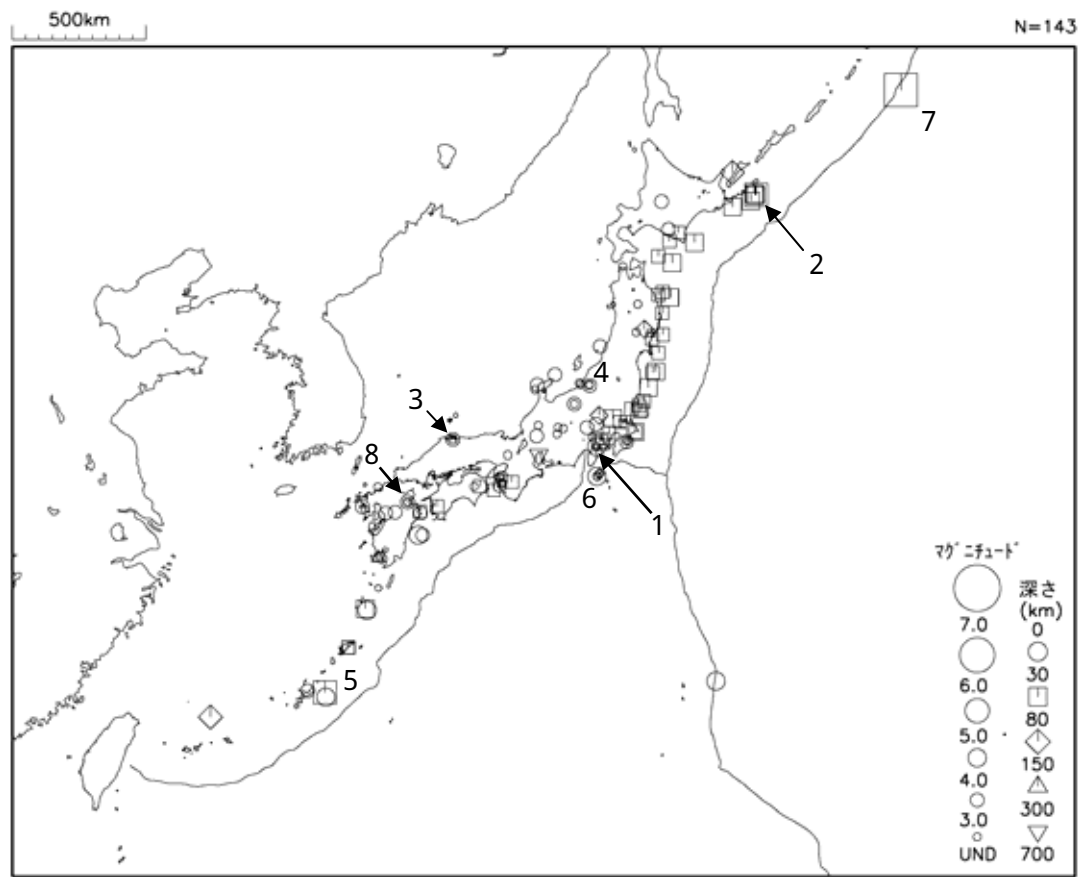


図1 2007年10月に震度1以上を観測した地震  
(図中の番号は、別紙1の表のNoに対応する地震)

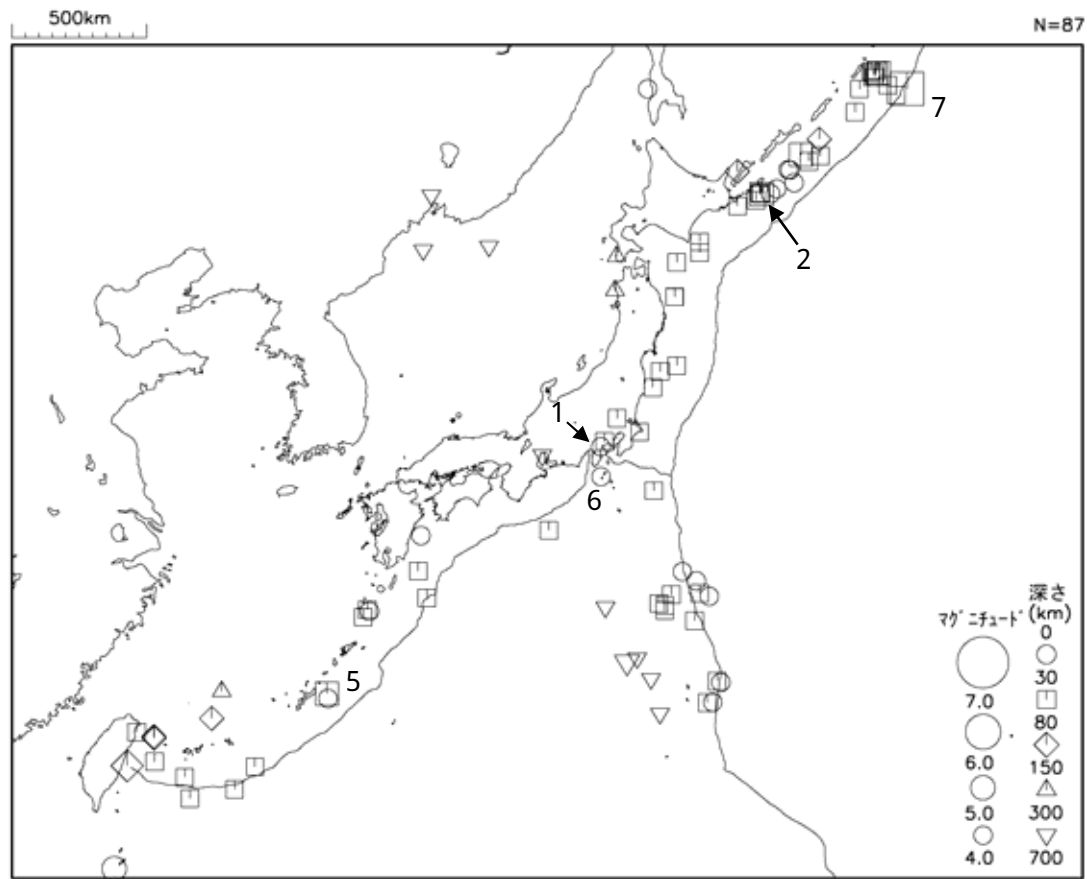


図2 2007年10月に発生したM4.0以上の地震  
(図中の番号は、別紙1の表のNoに対応する地震)

総数：9,311

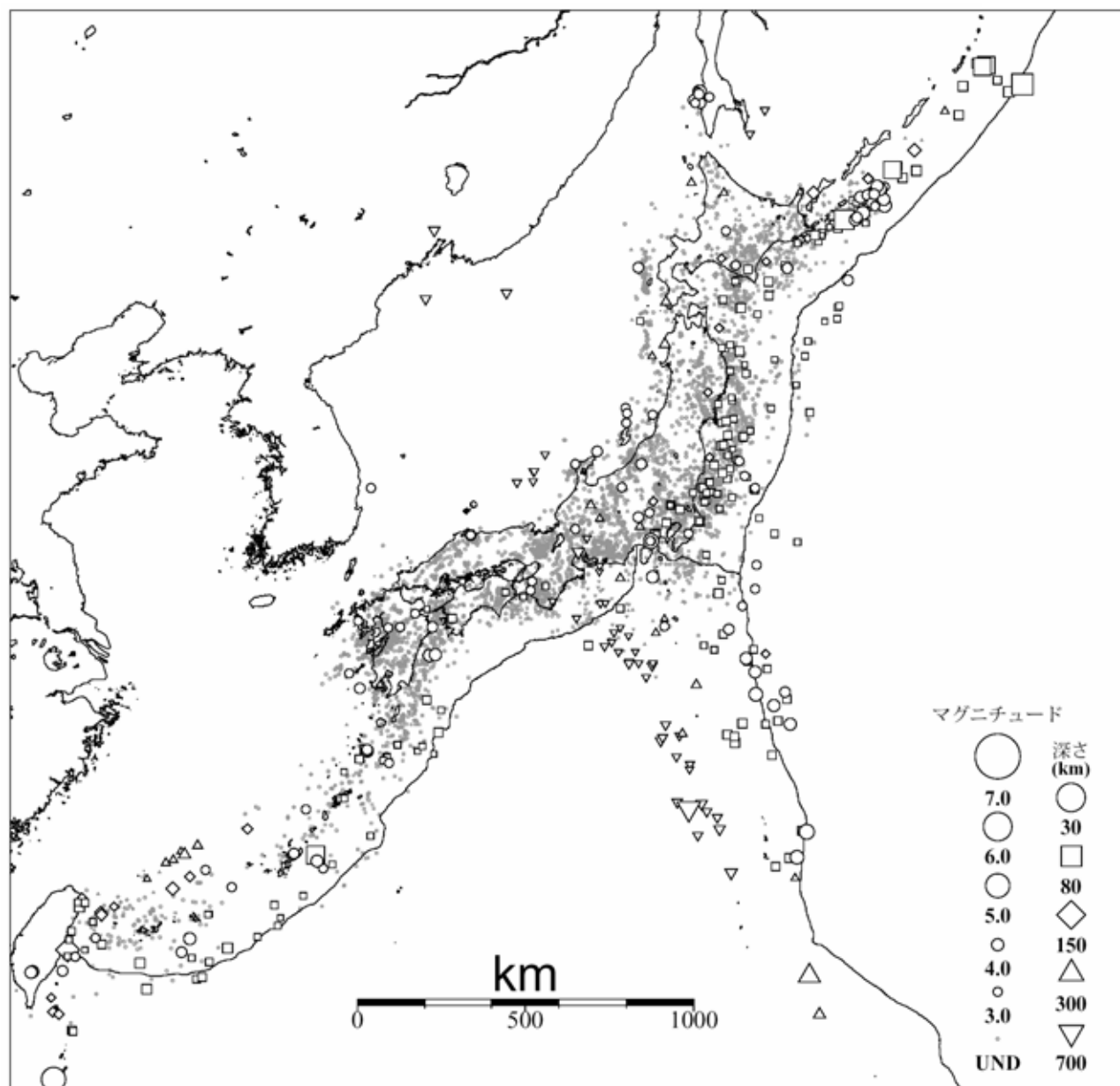


図3 気象庁が震源を決定した日本付近の2007年10月の地震の震央分布  
(M3.0以上の地震については白抜きで示す)

● 表 1 . 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 < 平成 18 年 ( 2006 年 ) 10 月 ~ 平成 19 年 ( 2007 年 ) 10 月 >

|          | 1    | 2   | 3   | 4  | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 | 7 | 計    | 記事                                                                                                                          |
|----------|------|-----|-----|----|----|----|----|----|---|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2007年10月 | 89   | 41  | 9   | 4  |    | 1  |    |    |   | 144  | 1日 神奈川県西部 (震度5強)<br>新島・神津島近海 (震度4:1回、<br>震度2:1回、震度1:9回)<br>大分県中部 (震度3:3回、震度2:3回、<br>震度1:6回)                                 |
| 2007年9月  | 99   | 21  | 6   |    |    |    |    |    |   | 126  |                                                                                                                             |
| 2007年8月  | 107  | 35  | 23  | 4  | 1  |    |    |    |   | 170  | 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の余震<br>(震度3:1回、震度2:5回、震度1:13回)<br>九十九里浜付近の地震活動<br>(震度5弱:1回、震度4:3回、<br>震度3:7回、震度2:7回、震度1:10回)            |
| 2007年7月  | 169  | 83  | 24  | 7  |    |    | 1  | 1  |   | 285  | 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震とその余震<br>(震度6強:1回、震度6弱:1回、<br>震度4:5回、震度3:11回、<br>震度2:49回、震度1:71回)<br>伊豆大島近海 (震度3:5回、<br>震度2:6回、震度1:25回) |
| 2007年6月  | 126  | 47  | 13  | 9  |    |    |    |    |   | 195  | 大分県中部 (震度4:3回、震度3:6回、<br>震度2:16回、震度1:39回)<br>平成19年(2007年)能登半島地震の余震<br>(震度4:1回、震度3:1回、<br>震度2:3回、震度1:6回)                     |
| 2007年5月  | 92   | 37  | 10  | 3  |    |    |    |    |   | 142  | 平成19年(2007年)能登半島地震の余震<br>(震度4:1回、震度2:9回、<br>震度1:20回)                                                                        |
| 2007年4月  | 135  | 47  | 23  | 7  |    | 1  |    |    |   | 213  | 15日 三重県中部 (震度5強)<br>平成19年(2007年)能登半島地震の余震<br>(震度4:1回、震度3:7回、<br>震度2:20回、震度1:66回)                                            |
| 2007年3月  | 280  | 105 | 35  | 8  | 3  |    |    | 1  |   | 432  | 平成19年(2007年)能登半島地震とその余震<br>(震度6強:1回、震度5弱:3回、<br>震度4:6回、震度3:25回、<br>震度2:74回、震度1:213回)                                        |
| 2007年2月  | 62   | 21  | 3   | 1  |    |    |    |    |   | 87   |                                                                                                                             |
| 2007年1月  | 63   | 28  | 10  | 1  |    |    |    |    |   | 102  | 新島・神津島近海<br>(震度2:3回、震度1:11回)                                                                                                |
| 2006年12月 | 82   | 46  | 14  | 3  |    |    |    |    |   | 145  | 新島・神津島近海 (震度4:1回、<br>震度3:6回、震度2:12回、<br>震度1:14回)                                                                            |
| 2006年11月 | 98   | 22  | 11  | 4  |    |    |    |    |   | 135  | 新島・神津島近海<br>(震度3:2回、震度2:2回、<br>震度1:8回)                                                                                      |
| 2006年10月 | 73   | 23  | 5   | 1  |    |    |    |    |   | 102  |                                                                                                                             |
| 2007年計   | 1222 | 465 | 156 | 44 | 4  | 2  | 1  | 2  |   | 1896 | (平成19年1月~平成19年10月)                                                                                                          |
| 過去1年計    | 1402 | 533 | 181 | 51 | 4  | 2  | 1  | 2  |   | 2176 | (平成18年11月~平成19年10月)                                                                                                         |

注) 「記事」欄の「\*」は関連の地震で震度1以上を観測した地震の回数。「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成9(1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市(神奈川県)、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成10(1998)年6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成11(1999)年7月21日 東京都、長野県

平成12(2000)年1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市(愛知県)

3月28日 滋賀県

7月18日 富山県、香川県、大分県

平成13(2001)年3月22日 佐賀県 5月10日 山梨県、川崎市(神奈川県)

7月19日 高知県 12月12日 福島県

平成14(2002)年3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市(宮城県)

7月29日 北海道、長崎県

平成15(2003)年3月10日 沖縄県

平成16(2004)年5月26日 独立行政法人防災科学技術研究所

● 表 2 . 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M)別の月別地震回数  
 <平成 18 年 (2006 年) 10 月 ~ 平成 19 年 (2007 年) 10 月>

|           | M3.0<br>~<br>M3.9 | M4.0<br>~<br>M4.9 | M5.0<br>~<br>M5.9 | M6.0<br>~<br>M6.9 | M7.0<br>以上 | 計<br>M3.0以上 | 計<br>M4.0以上 | 記事                                                                                                                                                     |
|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------|-------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2007年10月  | 282               | 78                | 8                 | 1                 |            | 369         | 87          | 25日：千島列島東方 (M6.2)                                                                                                                                      |
| 2007年 9 月 | 224               | 52                | 4                 | 2                 | 1          | 283         | 59          | 4日：千島列島 (M6.3)<br>7日：台湾付近 (M6.6)<br>28日：マリアナ諸島 (M7.6)                                                                                                  |
| 2007年 8 月 | 404               | 104               | 18                | 3                 |            | 529         | 125         | 1日：沖縄本島北西沖 (M6.1)<br>2日：サハリン西方沖 (M6.4)<br>7日：沖縄本島北西沖 (M6.3)                                                                                            |
| 2007年 7 月 | 348               | 76                | 14                | 3                 |            | 441         | 93          | 9日：千島列島東方 (M6.2)<br>16日：平成19年 (2007年) 新潟県中越沖地震 (M6.8)<br>16日：京都府沖 (M6.7)<br>平成19年 (2007年) 新潟県中越沖地震の余震活動<br>(M3.0~3.9：88回、M4.0~4.9：12回、<br>M5.0~5.9：1回) |
| 2007年 6 月 | 269               | 70                | 12                |                   |            | 351         | 82          |                                                                                                                                                        |
| 2007年 5 月 | 263               | 70                | 11                |                   |            | 344         | 81          | 平成19年 (2007年) 能登半島地震の余震活動<br>(M3.0~3.9：20回、M4.0~4.9：3回)                                                                                                |
| 2007年 4 月 | 373               | 110               | 33                | 3                 |            | 519         | 146         | 20日：宮古島北西沖 (M6.3, M6.7, M6.1)<br>平成19年 (2007年) 能登半島地震の余震活動<br>(M3.0~3.9：55回、M4.0~4.9：8回)                                                               |
| 2007年 3 月 | 474               | 106               | 13                | 3                 |            | 596         | 122         | 8日：鳥島近海 (M6.0)<br>9日：日本海北部 (M6.2)<br>25日：平成19年 (2007年) 能登半島地震 (M6.9)<br>平成19年 (2007年) 能登半島地震の余震活動<br>(M3.0~3.9：231回、M4.0~4.9：29回、<br>M5.0~5.9：3回)      |
| 2007年 2 月 | 232               | 57                | 9                 | 1                 |            | 299         | 67          | 17日：十勝沖 (M6.2)                                                                                                                                         |
| 2007年 1 月 | 244               | 113               | 24                | 2                 | 2          | 385         | 141         | 13日：千島列島東方 (M8.2)<br>14日：千島列島東方 (M6.5)<br>25日：台湾付近 (M6.1)<br>31日：マリアナ諸島 (M7.1)                                                                         |
| 2006年12月  | 274               | 107               | 26                | 2                 | 1          | 410         | 136         | 8日：千島列島東方 (M6.4)<br>26日：台湾付近 (M6.9、M7.2)                                                                                                               |
| 2006年11月  | 254               | 76                | 42                | 3                 | 1          | 376         | 122         | 15日：千島列島東方 (M7.9、M6.6)<br>16日：千島列島東方 (M6.1)<br>18日：奄美大島近海 (M6.0)                                                                                       |
| 2006年10月  | 254               | 75                | 19                | 7                 |            | 355         | 101         | 1日：千島列島東方 (M6.8、M6.6)<br>9日：台湾南方沖 (M6.1)<br>11日：福島県沖 (M6.0)<br>12日：与那国島近海 (M6.2)<br>13日：千島列島東方 (M6.3)<br>24日：鳥島近海 (M6.8)                               |
| 2007年計    | 3113              | 836               | 146               | 18                | 3          | 4116        | 1003        | (平成19年 1 月 ~ 平成19年10月)                                                                                                                                 |
| 過去 1 年計   | 3641              | 1019              | 214               | 23                | 5          | 4902        | 1261        | (平成18年11月 ~ 平成19年10月)                                                                                                                                  |

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20~49度、東経120~154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

## ●世界の主な地震

10月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

2007年10月1日00時～10月31日24時(日本時間)

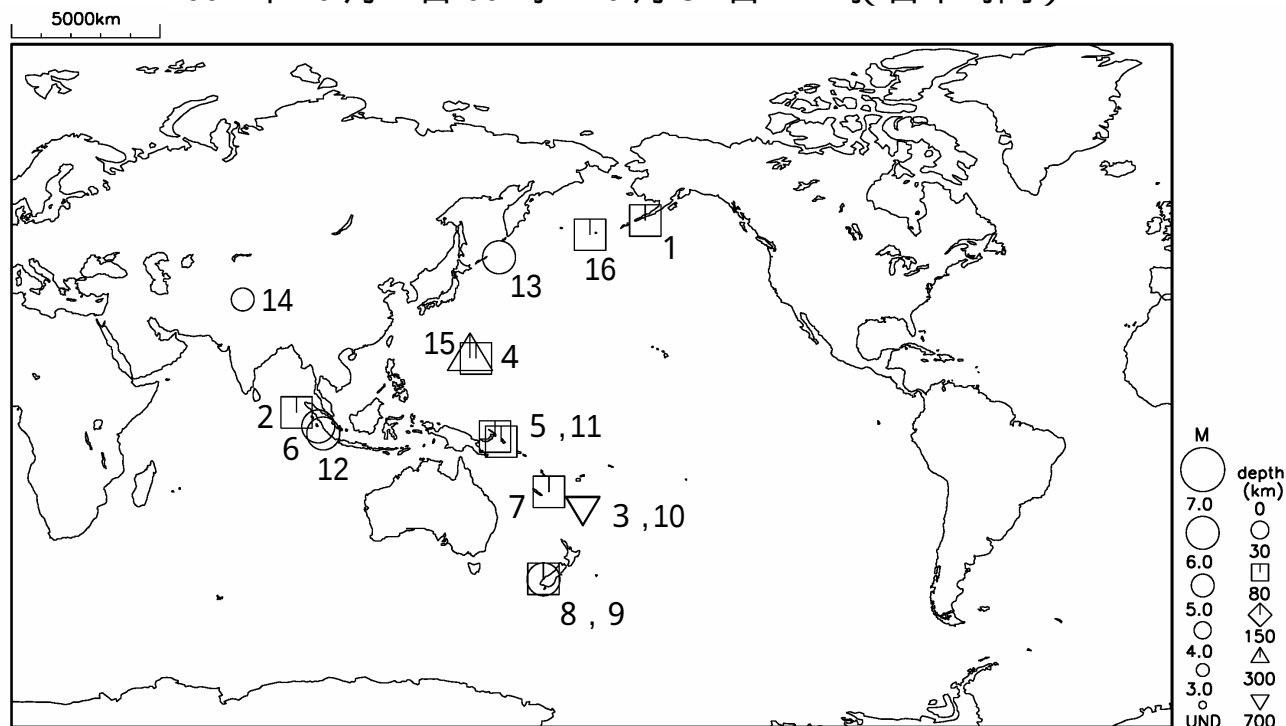


図1 2007年10月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

＜震源要素は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による＞

\* : 数字は、表1の番号に対応する。

\*\* : マグニチュードは mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

\*\*\* : 日本付近で発生した地震については、震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

表1 2007年10月に世界で発生したマグニチュード6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

| 番号 | 月 日 時        | 緯度          | 経度          | 深さ<br>(km) | mb  | Ms    | Mw  | 震央地名               | 備考(被害状況など)    |
|----|--------------|-------------|-------------|------------|-----|-------|-----|--------------------|---------------|
| 1  | 10月03日03時00分 | N54° 31.6'  | W161° 42.9' | 32         | 6.2 | 6.2   | 6.3 | 米国、アラスカ半島          |               |
| 2  | 10月04日21時40分 | N 2° 33.0'E | 92° 54.5'   | 30         | 5.6 | 5.8   | 6.2 | インドネシア、スマトラ北部西方沖   |               |
| 3  | 10月05日16時17分 | S25° 13.5'E | 179° 25.9'  | 523        | 6.0 |       | 6.5 | フィジー諸島南方           |               |
| 4  | 10月06日21時38分 | N18° 43.6'E | 147° 07.2'  | 62         | 5.9 |       | 6.1 | マリアナ諸島             |               |
| 5  | 10月10日00時03分 | S 4° 47.1'E | 152° 52.2'  | 39         | 5.7 | 5.7   | 6.0 | バブアニューギニア、ニューブリテン  |               |
| 6  | 10月10日09時19分 | S 1° 42.7'E | 99° 28.9'   | 26         |     |       | 6.0 | インドネシア、スマトラ南部      |               |
| 7  | 10月14日02時45分 | S21° 15.9'E | 169° 11.2'  | 42         | 5.8 | 6.0   | 6.1 | ローヤリティー諸島南東方       |               |
| 8  | 10月15日21時29分 | S44° 44.8'E | 167° 29.5'  | 50         |     |       | 6.8 | ニュージーランド、南島        |               |
| 9  | 10月16日06時28分 | S44° 51.5'E | 167° 30.9'  | 19         |     |       | 6.1 | ニュージーランド、南島        |               |
| 10 | 10月17日06時05分 | S25° 37.0'E | 179° 25.1'  | 550        |     |       | 6.6 | フィジー諸島南方           |               |
| 11 | 10月21日19時24分 | S 6° 19.5'E | 154° 45.1'  | 47         | 6.0 | 5.7   | 6.0 | ブーゲンビル-ソロモン諸島      |               |
| 12 | 10月25日06時02分 | S 3° 52.6'E | 100° 57.6'  | 20         |     |       | 6.8 | インドネシア、スマトラ南部      | TWI発表         |
| 13 | 10月25日22時50分 | N46° 06.9'E | 154° 12.6'  | 30         | 5.9 | (6.2) | 6.1 | 千島列島東方             |               |
| 14 | 10月26日15時50分 | N35° 18.6'E | 76° 38.4'   | 10         | 5.3 |       |     | カシミール東部            | 死者1人、負傷者12人以上 |
| 15 | 10月31日12時30分 | N18° 51.1'E | 145° 19.1'  | 248        |     |       | 7.2 | マリアナ諸島             | NWPTA発表       |
| 16 | 10月31日22時44分 | N51° 22.6'W | 178° 24.1'  | 35         | 5.8 | 5.7   | 6.0 | アリューシャン列島アンドリアノフ諸島 |               |

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(2007年11月5日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源要素及びマグニチュード(Msの欄に括弧を付して記載)は気象庁による。

・時分は震源時で日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。

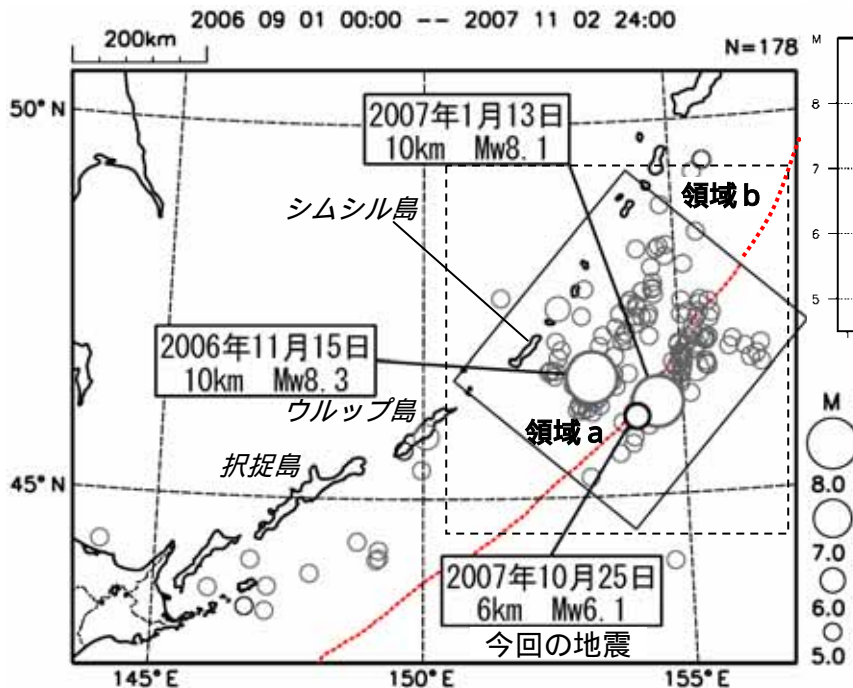
・NWPTAは、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報、TWIは気象庁がインド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報である(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)。

## 10月25日 千島列島東方の地震

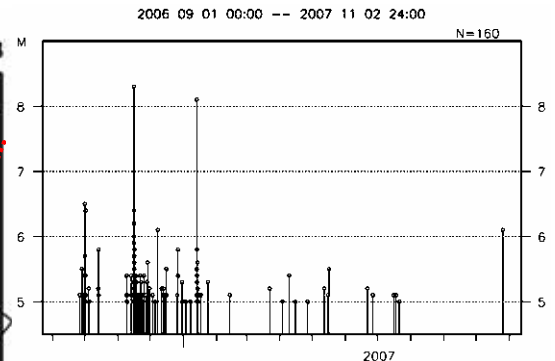
2007年10月25日22時50分に千島列島東方で Mw6.1 (米国地質調査所 (以下 USGS と表記) によるモーメントマグニチュード。気象庁によるマグニチュードは 6.2、国内の最大震度 1) の地震が発生した。発震機構 (Global CMT 解) は南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、千島・カムチャツカ海溝の外側に位置しており、太平洋プレート内部で発生した地震と考えられる。

今回の地震の震源付近では、2006年11月15日に Mw8.3、2007年1月13日に Mw8.1 の地震が発生している。

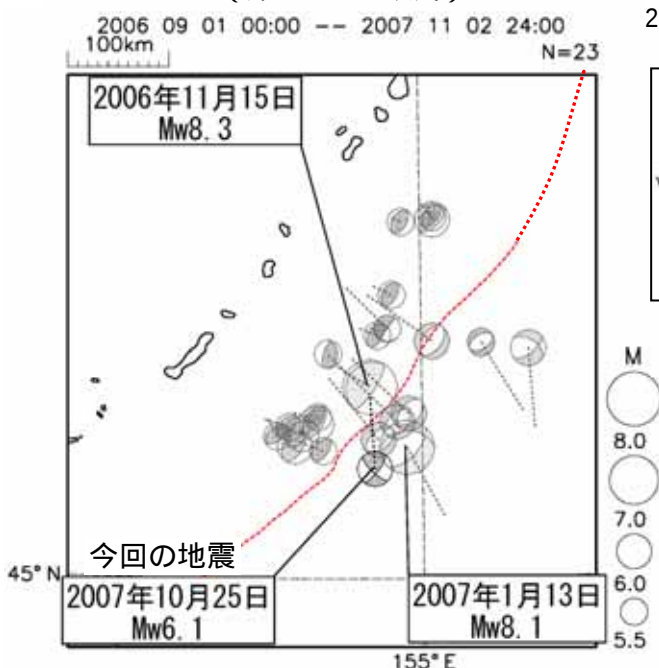
震央分布図 (2006年9月以降、M 5.0、深さ 100km 以浅)



領域 a 内の地震活動経過図

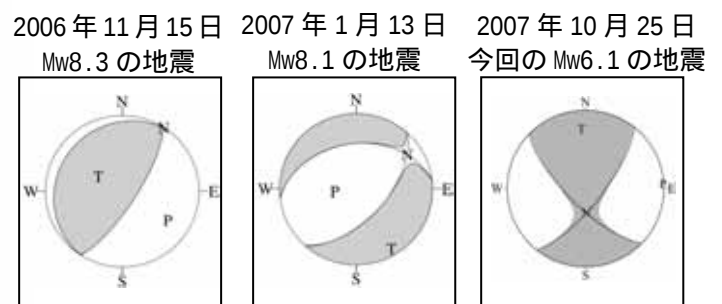


領域 b 内の発震機構 (Global CMT 解) 分布図  
(深さ 100km 以浅)



[震源球から伸びる線は張力軸を表す]

発震機構解 (Global CMT 解)



2006年9月以降の発震機構解 (CMT) をみると、千島・カムチャツカ海溝の西側に逆断層型を示す解、東側には正断層型を示す解が分布している。今回の地震の震源は正断層型の地震が多く発生している領域の南側に位置している。

## 平成 19 年 10 月の主な火山活動

### 【噴火した火山】

#### ▲ 桜 島 [ 比較的静穏な噴火活動（レベル 2） ]

29 日に南岳山頂火口で爆発的噴火が発生したほか、19 日にごく小規模な噴火が発生した。

#### ▲ 諏訪之瀬島 [ 活発な状況（レベル 3） ]

26 日に御岳火口で爆発的噴火が発生したほか、小規模な噴火が時々発生した。

### 【活発もしくはやや活発な状況の火山】

#### ● 樽前山 [ やや活発な状況 ]

A 火口及び B 噴気孔群は依然として高温状態が続いている。

#### ● 三宅島 [ やや活発な状況 ]

多量の火山ガスの放出が続いている。

#### ● 硫黄島 [ やや活発な状況 ]

国土地理院の観測によると、島全体が大きく隆起する地殻変動が継続している。

#### ● 福德岡ノ場 [ やや活発な状況 ]

11 日及び 26 日に第三管区海上保安本部が、17 日に海上保安庁が上空から行った観測によると、火山活動によると見られる変色水が確認された。

#### ● 薩摩硫黄島 [ やや活発な状況（レベル 2） ]

噴煙活動はやや活発で、火山性地震のやや多い状態が続いている。

#### ● 口永良部島 [ やや活発な状況（レベル 2） ]

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながら、やや多い状態が続いている。

**注 1** 本資料で示すレベルとは、現在 12 火山に導入している火山活動度レベルをいう。

**注 2** 火山名に下線を引いた火山について、説明資料（火山活動解説資料）を配布。

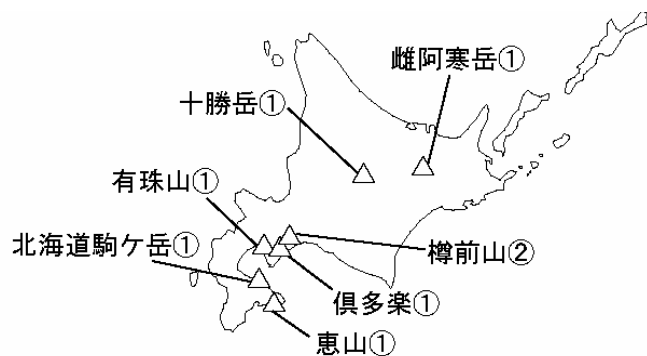
**注 3** 記号の意味

▲：噴火した火山    ●：活動が活発もしくはやや活発な状況の火山  
                               ：静穏な状況であるが観測データ等に変化のあった火山

海底火山

## 各火山の活動状況

### 【北海道地方】



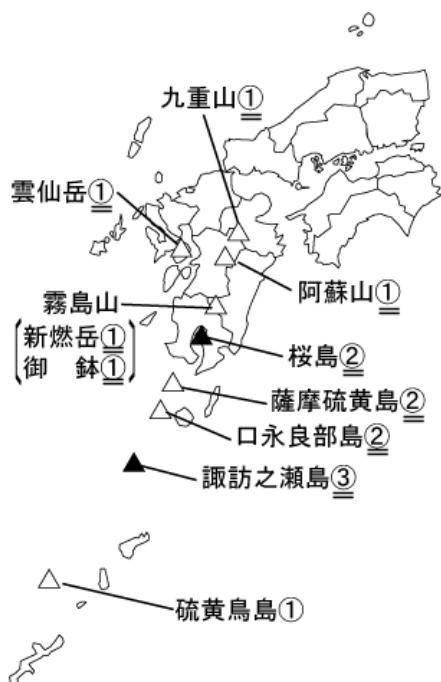
### 【東北地方】



### 【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】



### 【中国・九州地方、南西諸島】



#### 凡例

- △：火山活動が静穏な状況
- ▲：火山活動がやや活発な状況
- ▲：火山活動評価が活発な状況

注) 2重線を引いた数字はレベルを示す。

- ：レベル1
- ==：レベル2
- ===：レベル3

△：解説を掲載した火山

▲：解説を掲載した火山のうち噴火した火山

△：海底火山

過去 1 年間の火山活動の状況（やや活発もしくは活発な状況であった火山）

| 火 山 名      |       | 平成18年 |     | 平成19年 |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
|------------|-------|-------|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
|            |       | 11月   | 12月 | 1月    | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
| 十 勝 岳      | 噴火活動  |       |     |       | →  |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 樽 前 山      | 噴火活動  |       |     |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 御 嶽 山      | 噴火活動  |       |     | →     |    | ▲  |    | →  |    |    |    |    |     |
| 三 宅 島      | 噴火活動  |       |     |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 硫 黄 島      | 噴火活動  |       |     | →     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 福 徳 岡 ノ 場  | 噴火活動  |       |     |       |    |    |    |    |    |    | -  |    |     |
| 霧 島 山（新燃岳） | 噴火レベル |       | →   | →     |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 霧 島 山（御鉢）  | 噴火レベル |       |     |       | →  | →  |    |    |    |    |    |    |     |
| 桜 島        | 噴火レベル | ▲     | ▲   | ▲     | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  |    | ▲  |    | ▲   |
| 薩 摩 硫 黄 島  | 噴火レベル |       |     |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 口 永 良 部 島  | 噴火レベル |       |     |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
| 諏 訪 之 瀬 島  | 噴火レベル | ▲     | ▲   | ▲     | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲  | ▲   |

噴火が発生した場合▲で示す。レベル及び活動は、火山活動度レベルが導入されている火山については火山活動度レベルを、それ以外の火山については活動評価をそれぞれ示す。

凡例

- ：火山活動が静穏な状況もしくはレベル1
- ：火山活動がやや活発な状況もしくはレベル2
- ：火山活動が活発な状況もしくはレベル3

2007 年 10 月の火山情報発表状況

火山情報の発表はありませんでした。

# 全国の火山活動評価結果（10月31日現在）

## （１）主な活火山

|                   | 火山名     | 火山活動評価（10月31日現在） | 最近の活動経過                                                                                                                               |  |
|-------------------|---------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 北海道地方             | 雌阿寒岳    | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏<br>平成18年2月18日 やや活発<br>3月21日 【噴火】活発<br>4月12日 やや活発<br>5月25日 静穏                                                            |  |
|                   | 十勝岳     | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 やや活発<br>平成19年2月16日 静穏                                                                                                      |  |
|                   | 樽前山     | やや活発な状況          | 平成17年6月21日 やや活発                                                                                                                       |  |
|                   | 倶多楽     | 静穏な状況            | 平成18年2月28日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 有珠山     | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 北海道駒ヶ岳  | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 恵山      | 静穏な状況            | 平成17年11月2日 静穏                                                                                                                         |  |
| 東北地方              | 岩木山     | 静穏な状況            | 平成19年10月16日 静穏                                                                                                                        |  |
|                   | 岩手山     | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 秋田駒ヶ岳   | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 栗駒山     | 静穏な状況            | 平成18年11月14日 静穏                                                                                                                        |  |
|                   | 吾妻山     | 静穏な状況（レベル1）      | 平成17年2月1日 静穏                                                                                                                          |  |
|                   | 安達太良山   | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 磐梯山     | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
| 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島 | 那須岳     | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 草津白根山   | 静穏な状況（レベル1）      | 平成17年6月1日 静穏（レベル1）                                                                                                                    |  |
|                   | 浅間山     | 静穏な状況（レベル1）      | 平成15年11月4日 やや活発（レベル2）<br>平成16年7月20日 静穏（レベル1）<br>7月31日 やや活発（レベル2）<br>9月1日 【噴火】活発（レベル3）<br>平成17年6月21日 やや活発（レベル2）<br>平成18年9月22日 静穏（レベル1） |  |
|                   | 新潟焼山    | 静穏な状況            | 平成18年2月28日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 御嶽山     | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏<br>平成19年1月19日 やや活発<br>平成19年5月25日 静穏                                                                                     |  |
|                   | 白山      | 静穏な状況            | 平成17年11月2日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 富士山     | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 箱根山     | 静穏な状況            | 平成18年11月14日 静穏                                                                                                                        |  |
|                   | 伊豆東部火山群 | 静穏な状況            | 平成17年6月21日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 伊豆大島    | 静穏な状況（レベル1）      | 平成15年11月4日 静穏（レベル1）                                                                                                                   |  |
|                   | 三宅島     | やや活発な状況          | 平成17年6月21日 やや活発                                                                                                                       |  |
|                   | 八丈島     | 静穏な状況            | 平成18年2月28日 静穏                                                                                                                         |  |
|                   | 硫黄島     | やや活発な状況          | 平成17年6月21日 静穏<br>平成19年1月9日 やや活発                                                                                                       |  |
|                   | 福德岡ノ場   | やや活発な状況          | 平成17年11月2日 やや活発                                                                                                                       |  |

|           | 火山名      | 火山活動評価（10月31日現在） | 最近の活動経過    |                        |
|-----------|----------|------------------|------------|------------------------|
| 九州地方・南西諸島 | 九重山      | 静穏な状況（レベル1）      | 平成17年2月1日  | 静穏（レベル1）               |
|           | 阿蘇山      | 静穏な状況（レベル1）      | 平成15年11月4日 | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 平成16年1月14日 | 【噴火（土砂噴出）】<br>活発（レベル3） |
|           |          |                  | 2月13日      | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 平成17年4月14日 | 【噴火（土砂噴出）】<br>活発（レベル3） |
|           |          |                  | 5月13日      | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 平成18年1月20日 | 静穏（レベル1）               |
|           |          |                  | 3月24日      | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 8月4日       | 静穏（レベル1）               |
|           | 雲仙岳      | 静穏な状況（レベル1）      | 平成15年11月4日 | 静穏（レベル1）               |
|           | 霧島山（新燃岳） | 静穏な状況（レベル1）      | 平成17年2月1日  | 静穏（レベル1）               |
|           |          |                  | 平成18年2月1日  | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 5月22日      | 静穏（レベル1）               |
|           |          |                  | 平成18年12月3日 | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 平成19年1月9日  | 静穏（レベル1）               |
|           | 霧島山（御鉢）  | 静穏な状況（レベル1）      | 平成17年2月1日  | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 平成18年5月22日 | 静穏（レベル1）               |
|           |          |                  | 平成19年2月5日  | やや活発（レベル2）             |
|           |          |                  | 平成19年3月5日  | 静穏（レベル1）               |
|           | 桜島       | 比較的静穏な噴火活動（レベル2） | 平成15年11月4日 | 比較的静穏な噴火活動（レベル2）       |
|           |          |                  | 平成18年6月12日 | 【昭和火口から噴火】<br>活発（レベル3） |
|           |          |                  | 8月18日      | 比較的静穏な噴火活動（レベル2）       |
|           | 薩摩硫黄島    | やや活発な状況（レベル2）    | 平成17年2月1日  | やや活発（レベル2）             |
|           | 口永良部島    | やや活発な状況（レベル2）    | 平成17年2月1日  | やや活発（レベル2）             |
|           | 諏訪之瀬島    | 活発な状況（レベル3）      | 平成17年2月1日  | 【噴火継続】<br>活発（レベル3）     |
|           | 硫黄島島     | 静穏な状況            | 平成19年2月16日 | 静穏                     |

注）最近の活動経過欄は、火山活動度レベル導入火山（ ）にはレベル導入日からの、それ以外の火山（ ）には第101回火山噴火予知連絡会（平成17年6月21日開催）以降最初に評価を明記した火山噴火予知連絡会開催日からの活動経過を示している。

## （2）その他の活火山

以下の活火山では、いずれも火山活動は静穏な状況である。

|                       | 火 山 名                                                         |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------|
| 北海道地方                 | 知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島               |
| 東北地方                  | 恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳                     |
| 関東・中部地方<br>及び伊豆・小笠原諸島 | 高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島 |
| 中国・九州地方<br>及び南西諸島     | 三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島       |

## （補足）評価対象外の活火山

無人島：伊豆鳥島、西之島

岩礁あるいは岩：ベヨネース列岩、須美寿島、嬬婦岩

海底火山：海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、西表島北北東海底火山

北方四島：茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

## ● 世界の主な火山活動

平成 19 年（2007 年）10 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。  
今期間、顕著な噴火は報告されなかった。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の G V P（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

